

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中央自動車道西宮線(滋賀県東近江市尻無町から兵庫県西宮市今津水波町まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 滋賀県東近江市尻無町 から
兵庫県西宮市今津水波町 まで

(ロ) 延 長 102.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分
第 1 種 第 1 級 (道路構造令) (120キロメートル/時)
第 1 種 第 2 級 (道路構造令) (100キロメートル/時)
第 1 種 第 3 級 (道路構造令) (80キロメートル/時)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
滋賀県東近江市尻無町 から 滋賀県蒲生郡蒲生町 まで	120	5.1	

別 紙 1

滋賀県蒲生郡蒲生町	から	100	18.6	
滋賀県栗東市小野	まで			
滋賀県栗東市小野	から	120	12.0	
滋賀県大津市石山寺辺町	まで			
滋賀県大津市石山寺辺町	から	100	4.5	
滋賀県大津市松本本宮町	まで			
滋賀県大津市松本本宮町	から	80	3.5	
京都府京都市山科区小山	まで			
京都府京都市山科区小山	から	100	9.9	
京都府京都市南区中島宮ノ後町	まで			
京都府京都市南区中島宮ノ後町	から	120	8.6	
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	まで			
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	から	100	23.8	
大阪府吹田市垂水	まで			
大阪府吹田市垂水	から	120	16.0	
兵庫県西宮市今津水波町	まで			

(八)設計自動車荷重 TL-20トン

(二)車線の幅員 3.5メートル

(ホ)車線数

4車線

別紙 1

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.75×2	5.50	2.75	1.25	4.00	一部区間 2.75×2
	1.75×2	3.50				
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.75×2	5.50	2.75	1.25	4.00	一部区間 1.75×2
	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	2.75×2	5.50	2.75	1.25	4.00	一部区間 1.75×2
	1.75×2	3.50				

上段 滋賀県東近江市尻無町 から
大阪府吹田市垂水 まで
下段 大阪府吹田市垂水 から
兵庫県西宮市今津水波町 まで

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (一部 2.50m)
(側帯 0.75 × 2 含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道1号・一般国道8号・ 県道上砥山上釣線	滋賀県栗東市	立体接続	栗東インタ - チェンジ
県道大津インタ - 線	滋賀県大津市	立体接続	大津インタ - チェンジ
一般国道1号	京都府京都市	立体接続	京都東インタ - チェンジ
一般国道1号・府道六地蔵下鳥羽線	京都府京都市	立体接続	京都南インタ - チェンジ
一般国道171号	大阪府茨木市	立体接続	茨木インタ - チェンジ
中国縦貫自動車道	大阪府吹田市	立体接続	吹田ジャンクション
府道大阪中央環状線	大阪府吹田市	立体接続	吹田インターチェンジ
府道大阪池田線・府道高速大阪池田線	大阪府豊中市	立体接続	豊中インタ - チェンジ
府道尼崎池田線	兵庫県尼崎市	立体接続	尼崎インタ - チェンジ
一般国道43号 県道高速神戸西宮線	兵庫県西宮市	立体接続	西宮インタ - チェンジ

(4)工事予算

991 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 34 年 2 月 5 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 2,159百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道天理吹田線(奈良県天理市櫛本町から大阪府松原市大堀五丁目まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 天理吹田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 奈良県天理市櫛本町 から
大阪府松原市大堀五丁目 まで

(ロ) 延 長 27.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
奈良県天理市櫛本町 から 大阪府松原市大堀五丁目 まで	80	27.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 20トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
奈良県天理市櫛本町	から	4車線	4車線	完成施工
大阪府柏原市田辺二丁目	まで			
大阪府柏原市田辺二丁目	から	6車線	6車線	完成施工
大阪府松原市大堀五丁目	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.25×2	4.50	2.50	1.00	3.50	上段4車線 下段6車線
	2.35×2	4.70	2.25	1.00	3.25	
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.00×2	4.00	-	-	-	"
	2.10×2	4.20	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.45×2	2.90	-	-	-	"
	2.35×2	4.70	-	-	-	

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

2.50メートル

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道25号	奈良県天理市	平面接続	本線
一般国道169号	奈良県天理市	立体接続	天理インターチェンジ
一般国道24号	奈良県天理市及び奈良県大和郡山市	立体接続	郡山インターチェンジ
一般国道24号(京奈和自動車道)	奈良県天理市及び奈良県大和郡山市	立体接続	大和郡山ジャンクション(仮称)
県道大和高田斑鳩線	奈良県北葛城郡河合町	立体接続	法隆寺インターチェンジ
県道香芝インター線	奈良県香芝市	立体接続	香芝インターチェンジ
一般国道165号	大阪府柏原市	立体接続	柏原インターチェンジ
府道堺大和高田線	大阪府藤井寺市	立体接続	藤井寺インターチェンジ
近畿自動車道 天理吹田線	大阪府松原市	立体接続	松原ジャンクション
府道高速大阪松原線	大阪府松原市	平面接続	本線

(4)工事予算

777億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 3月 17日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道天理吹田線(大阪府松原市別所二丁目から大阪府吹田市青葉丘北まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、 TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.5メートル (一部3.25メートル)

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
大阪府松原市別所二丁目	から	6 車線	6 車線	
大阪府大阪市鶴見区茨田大宮二丁目	まで			
大阪府大阪市鶴見区茨田大宮二丁目	から	4 車線	4 車線	
大阪府吹田市青葉丘北	まで			

別紙 1

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土分離(1)	1.00×2	2.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
	3.00×2	6.00				
	2.50×2	5.00				
	-	-				
切土盛土分離(2)	2.25×2	4.50	-	-	-	"
	-	-				
	-	-				
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架橋部分 (中小橋)	0.90×2	1.80	-	-	-	側帯幅0.5m含む
	0.90×2	1.80				
	2.50×2	5.00				
	1.25×2	2.50				
橋梁高架橋部分 (長大橋 - 1)	2.25×2	4.50	-	-	-	"
	2.25×2	4.50				
	2.50×2	5.00				
	1.25×2	2.50				
橋梁高架橋部分 (長大橋 - 2)	0.90×2	1.80	-	-	-	"
	0.90×2	1.80				
	-	-				
橋梁高架橋部分 (長大橋 - 3)	1.00×2	2.00	-	-	-	"
	-	-				
	-	-				
橋梁高架橋部分 (長大橋 - 4)	0.25×2	0.50	-	-	-	
	-	-				
	-	-				
橋梁高架橋部分 (長大橋 - 5)	-	-	-	-	-	既設の大和川橋
	-	-	2.80	0.50	3.30	
	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	

別紙 1

一段は大阪府茨木市沢良宜西一丁目 ~ 大阪府吹田市青葉丘北 間
 二段は大阪府門真市大字葎島 ~ 大阪府茨木市沢良宜西一丁目 間
 三段は大阪府松原市大堀五丁目 ~ 大阪府門真市大字葎島 間
 四段は大阪府松原市別所二丁目 ~ 大阪府松原市大堀五丁目 間

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)
 2.50メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)
 2.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)
 及び1.0メートル

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
近畿自動車道 那智勝浦線	大阪府松原市	平面接続	本線
府道大阪中央環状線	大阪府松原市	立体接続	松原インターチェンジ
府道高速大阪松原線 近畿自動車道 天理吹田線	大阪府松原市	立体接続	松原ジャンクション
府道大阪中央環状線	大阪府大阪市	立体接続	長原インターチェンジ
府道大阪中央環状線	大阪府八尾市	立体接続	八尾インターチェンジ
府道大阪中央環状線	大阪府東大阪市	立体接続	東大阪南インターチェンジ
府道高速大阪東大阪線	大阪府東大阪市	立体接続	東大阪ジャンクション
府道大阪中央環状線	大阪府東大阪市	立体接続	東大阪北インターチェンジ
府道大阪中央環状線	大阪府大阪市	立体接続	大東鶴見インターチェンジ

別 紙 1

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道1号	大阪府門真市	立体接続	門真南インターチェンジ(仮称)
府道大阪中央環状線	大阪府門真市	立体接続	門真インターチェンジ
府道大阪中央環状線	大阪府摂津市	立体接続	摂津南インターチェンジ
府道大阪中央環状線	大阪府摂津市	立体接続	摂津北インターチェンジ
府道大阪中央環状線	大阪府吹田市	立体接続	吹田インターチェンジ
中央自動車道 西宮線	大阪府吹田市	立体接続	吹田ジャンクション

(4)工事予算

2,840 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43 年 4 月 1 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋神戸線(滋賀県甲賀市甲賀町岩室から京都府城陽市寺田金尾まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 滋賀県甲賀市甲賀町岩室 から
 京都府城陽市寺田金尾 まで

(ロ) 延 長 52.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
滋賀県甲賀市甲賀町岩室 から	120	52.7	
京都府城陽市寺田金尾 まで			

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル、3.75メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
滋賀県甲賀市甲賀町岩室	から	4車線	6車線	暫定施工
京都府城陽市寺田金尾	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

亀山～大津

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	2.50	1.25	3.75	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	3.125	1.25	4.375	側帯幅員 0.75

別紙 1

大津～城陽

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	3.125	1.25	4.375	側帯幅員 0.75

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル、7.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
県道甲賀土山線	滋賀県甲賀市	立体接続	甲賀土山インターチェンジ(仮称)
県道柑子塩野線	滋賀県甲賀市	立体接続	甲南インターチェンジ(仮称)
一般国道307号	滋賀県甲賀市	立体接続	信楽インターチェンジ(仮称)
近畿自動車道 名古屋神戸線	滋賀県大津市	立体接続	大津ジャンクション(仮称)
県道大津能登川長浜線	滋賀県草津市	立体接続	草津田上インターチェンジ
中央自動車道 西宮線	滋賀県草津市	立体接続	草津ジャンクション
一般国道307号	京都府綴喜郡宇治田原町	立体接続	宇治田原インターチェンジ(仮称)
一般国道24号(京奈道路)	京都府城陽市	立体接続	城陽ジャンクション(仮称)
一般国道24号	京都府城陽市	立体接続	城陽インターチェンジ(仮称)

(4) 工事予算

8,923 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 34 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道名古屋神戸線(京都府城陽市寺田金尾から京都府八幡市美濃山千原谷まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 京都府城陽市寺田金尾 から
京都府八幡市美濃山千原谷 まで

(ロ) 延長 4.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
京都府城陽市寺田金尾 から 京都府八幡市美濃山千原谷 まで	120	4.8	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル、3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
京都府城陽市寺田金尾	から	4 車線	6 車線	暫定施工
京都府八幡市美濃山千原谷	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	-	-	-	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	-	-	-	側帯幅員 0.75

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道1号(第二京阪道路)	京都府八幡市	立体接続	八幡ジャンクション(仮称)
府道富野荘八幡線	京都府八幡市	立体接続	八幡インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,587 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 1 月 19 日

工事の完成予定年月日 平成 32 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道名古屋神戸線(京都府八幡市美濃山千原谷から大阪府高槻市成合まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル、3.75メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
京都府八幡市美濃山千原谷	から	4車線	6車線	
大阪府高槻市成合	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	-	-	3.125	1.25	4.375	側帯幅員 0.75

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
近畿自動車道 名古屋神戸線	大阪府高槻市	立体接続	高槻第一ジャンクション(仮称)
府道伏見柳谷高槻線	大阪府高槻市	立体接続	高槻インターチェンジ(仮称)
中央自動車道西宮線	大阪府高槻市	立体接続	高槻第二ジャンクション(仮称)

(4)工事予算

5,396 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11年 1月 8日

工事の完成予定年月日 平成 33年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋神戸線(大阪府高槻市成合から大阪府箕面市下止々呂美まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル～3.75メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
大阪府高槻市成合	から	4車線	6車線	暫定施工
大阪府箕面市下止々呂美	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	3.125	1.25	4.375	側帯幅員 0.75

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
府道茨木摂津線	大阪府茨木市	立体接続	茨木北インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

4,195 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 12 年 1 月 12 日

工事の完成予定年月日 平成 30 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋神戸線(大阪府箕面市下止々呂美から兵庫県神戸市北区八多町まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大阪府箕面市下止々呂美 から
 兵庫県神戸市北区八多町 まで

(ロ) 延 長 23.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大阪府箕面市下止々呂美 から 兵庫県神戸市北区八多町 まで	120	23.5	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員
 右側 3.75メートル
 左側 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
大阪府箕面市下止々呂美 兵庫県神戸市北区八多町	から まで	4車線	6車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	3.125	1.25	4.375	側帯幅員 0.75

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道423号	大阪府箕面市	立体接続	箕面インターチェンジ(仮称)
県道川西インター線	兵庫県川西市	立体接続	川西インターチェンジ(仮称)
中国縦貫自動車道	兵庫県神戸市	立体接続	神戸ジャンクション(仮称)
山陽自動車道 吹田山口線	兵庫県神戸市	平面接続	本線

(4)工事予算

4,659 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 29 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道松原那智勝浦線(大阪府松原市別所二丁目から大阪府泉南市信達六尾まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 松原那智勝浦線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大阪府松原市別所二丁目 から
大阪府泉南市信達六尾 まで

(ロ) 延 長 42.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
大阪府松原市別所二丁目 から 大阪府泉南市信達六尾 まで	80	42.7	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン、TT-43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.25メートル及び3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
大阪府松原市別所二丁目	から	6車線	6車線	
大阪府堺市小阪	まで			
大阪府堺市小阪	から	4車線	4車線	
大阪府泉南市信達六尾	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
切土盛土分離(1)	2.50×2 -	5.00 -	2.50 -	1.00 -	3.50 -	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2 1.25×2	5.00 2.50	2.50 -	1.00 -	3.50 -	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2 1.25×2	3.50 2.50	1.75 -	1.00 -	2.75 -	側帯幅0.5m含む

上段:大阪府堺市小阪から大阪府泉南市信達六尾まで
下段:大阪府松原市別所二丁目から大阪府堺市小阪まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

2.25及び3.00メートル
(側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
府道泉大津美原線、府道美原太子線	大阪府堺市	立体接続	美原北インターチェンジ
府道美原太子線(南阪奈有料道路)	大阪府堺市	立体接続	美原ジャンクション
府道泉大津美原線、府道美原太子線	大阪府堺市	立体接続	美原南インターチェンジ
府道泉大津美原線(堺泉北有料道路)	大阪府堺市	立体接続	堺ジャンクション
府道堺かつらぎ線	大阪府堺市	立体接続	堺インターチェンジ
府道春木岸和田線	大阪府和泉市	立体接続	岸和田和泉インターチェンジ
府道岸和田牛滝山貝塚線	大阪府貝塚市	立体接続	貝塚インターチェンジ
関西国際空港線	大阪府泉佐野市	立体接続	泉佐野ジャンクション

(4)工事予算

3,270 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 10 月 19 日

工事の完成予定年月日 平成 19 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道 松原那智勝浦線(大阪府堺市深井畑山町から大阪府岸和田市積川町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 松原那智勝浦線

(2) 工事の区間

大阪府堺市深井畑山町 から

大阪府岸和田市積川町 まで

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
府道泉大津美原線(堺泉北有料道路)	大阪府堺市	立体接続	堺ジャンクション
府道堺かつらぎ線	大阪府堺市	立体接続	堺インターチェンジ
府道春木岸和田線	大阪府和泉市	立体接続	岸和田和泉インターチェンジ

別 紙 1

(4) 工事予算

45 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 3 年 10 月 31 日

工事の完成予定年月日 平成 18 年 2 月 28 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

27 億円(うち、債務引受基準額 27 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道松原那智勝浦線(大阪府泉南市信達六尾から和歌山県海南市大野中まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン及びTT-43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
大阪府泉南市信達六尾 和歌山県海南市大野中	から まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員 0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅員 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅員 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅員 0.5m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
府道泉佐野岩出線	大阪府泉南市	立体接続	泉南インターチェンジ
府道自然田鳥取荘停車場線	大阪府阪南市	立体接続	阪南インターチェンジ
一般国道24号	和歌山県和歌山市	立体接続	和歌山インターチェンジ
県道海南金屋線	和歌山県海南市	立体接続	海南東インターチェンジ
一般国道42号	和歌山県海南市	立体接続	海南インターチェンジ

(4)工事予算

566億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 43年 4月 1日

工事の完成年月日 平成 6年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道松原那智勝浦線(和歌山県海南市藤白から和歌山県有田郡吉備町天満まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
和歌山県海南市藤白	から	4車線	4車線	4車線 拡幅
和歌山県有田郡吉備町天満	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	〃
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	2.50	1.00	3.50	〃
橋梁高架部分 (長大橋)	-	-	1.75	1.00	2.75	〃

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
県道興加茂郷停車場線	和歌山県海南市	立体接続	下津インターチェンジ
一般国道42号・県道吉備金屋線・町道徳田水尻線	和歌山県有田郡吉備町	立体接続	吉備インターチェンジ
一般国道42号(湯浅御坊道路)	和歌山県有田郡吉備町	平面接続	本線

(4)工事予算

803億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11年 1月 8日

工事の完成予定年月日 平成 22年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道松原那智勝浦線(和歌山県御坊市野口から和歌山県日高郡みなべ町東吉田まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道松原那智勝浦線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 和歌山県御坊市野口 から
和歌山県日高郡みなべ町東吉田 まで

(ロ) 延 長 21.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
和歌山県御坊市野口 から 和歌山県日高郡みなべ町東吉田 まで	80	21.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
和歌山県御坊市野口	から	2 車線	4 車線	暫定施工
和歌山県日高郡みなべ町東吉田	まで			

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道42号(湯浅御坊道路)	和歌山県御坊市	平面接続	本線
県道御坊中津線	和歌山県御坊市	立体接続	御坊南インターチェンジ
県道印南原印南線	和歌山県日高郡印南町	立体接続	印南インターチェンジ
一般国道424号	和歌山県日高郡みなべ町	平面接続	みなべインターチェンジ

(4)工事予算

972 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道松原那智勝浦線(和歌山県日高郡みなべ町東吉田から和歌山県田辺市稲成町まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道松原那智勝浦線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 和歌山県日高郡みなべ町東吉田 から
 和歌山県田辺市稲成町 まで

(ロ) 延 長 5.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
和歌山県日高郡みなべ町東吉田 から 和歌山県田辺市稲成町 まで	80	5.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
和歌山県日高郡みなべ町東吉田	から	2車線	4車線	暫定施工
和歌山県田辺市稲成町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	〃

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道42号 (田辺西バイパス)	和歌山県田辺市	立体接続	田辺インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

370 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 1 月 20 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道松原那智勝浦線(和歌山県田辺市稻成町から和歌山県西牟婁郡白浜町十九洲まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道松原那智勝浦線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 和歌山県田辺市稲成町 から
和歌山県西牟婁郡白浜町十九洲 まで

(ロ) 延 長 14.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
和歌山県田辺市稲成町 から	80	14.0	
和歌山県西牟婁郡白浜町十九洲 まで			

別紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
和歌山県田辺市稲成町	から	2車線	4車線	暫定施工
和歌山県西牟婁郡白浜町十九洲	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.75	3.50	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	〃

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道42号	和歌山県西牟婁郡上富田町	立体接続	上富田インターチェンジ(仮称)
県道白浜温泉線	和歌山県西牟婁郡白浜町	平面接続	白浜インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

826億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11年 1月 8日
 工事の完成予定年月日 平成 26年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道敦賀線(兵庫県美囊郡吉川町金会から京都府福知山市長田野町三丁目まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道敦賀線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 兵庫県美囊郡吉川町金会 から
京都府福知山市長田野町三丁目 まで

(ロ) 延 長 53.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
兵庫県美囊郡吉川町金会 から 京都府福知山市長田野町三丁目 まで	80	53.7	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン 及び TT-43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
兵庫県美囊郡吉川町金会	から	4車線	4車線	
京都府福知山市長田野町三丁目	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	〃
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	〃
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	〃

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
中国縦貫自動車道	兵庫県美嚨郡吉田町	立体接続	吉川ジャンクション
県道三田西インター線	兵庫県三田市	立体接続	三田西インターチェンジ
県道丹南篠山口インター線	兵庫県篠山市	立体接続	丹南篠山口インターチェンジ
一般国道175号 一般国道483号	兵庫県丹波市	立体接続	春日インターチェンジ
一般国道9号	京都府福知山市	立体接続	福知山インターチェンジ

(4)工事予算

1,714 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 11月 15日

工事の完成年月日 平成 17年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道敦賀線(京都府福知山市長田野町三丁目から京都府舞鶴市字堀まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 敦賀線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 京都府福知山市長田野町三丁目 から
京都府舞鶴市字堀 まで

(ロ) 延 長 22.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
京都府福知山市長田野町三丁目 から 京都府舞鶴市字堀 まで	80	22.7	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン、TT43トン及び25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
京都府福知山市長田野町三丁目	から	4車線	4車線	
京都府舞鶴市字堀	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	〃
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	〃
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	〃

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
府道綾部インター線	京都府綾部市	立体接続	綾部インターチェンジ
一般国道478号	京都府綾部市	立体接続	綾部ジャンクション
府道池辺京田線	京都府舞鶴市	立体接続	舞鶴西インターチェンジ

(4)工事予算

1,031億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成予定年月日 平成 19年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道敦賀線(京都府舞鶴市字堀から京都府舞鶴市字堂奥まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 敦賀線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 京都府舞鶴市字堀 から
京都府舞鶴市字堂奥 まで

(ロ) 延 長 11.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
京都府舞鶴市字堀 から	80	11.4	
京都府舞鶴市字堂奥 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン、TT43トン及び25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
京都府舞鶴市字堀	から	2 車線	4 車線	暫定施工
京都府舞鶴市字堂奥	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	"
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	"
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	"

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
府道小倉西舞鶴線	京都府舞鶴市	立体接続	舞鶴東インターチェンジ

(4)工事予算

413 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 5 月 15 日
 工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道敦賀線(京都府舞鶴市字堂奥から福井県小浜市加斗まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 敦賀線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 京都府舞鶴市字堂奥 から
福井県小浜市加斗 まで

(ロ) 延 長 24.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
京都府舞鶴市字堂奥 から 福井県小浜市加斗 まで	80	24.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
京都府舞鶴市字堂奥	から	2車線	4車線	暫定施工
福井県小浜市加斗	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	〃

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
県道坂本高浜線	福井県大飯郡大飯町	立体接続	大飯高浜インターチェンジ
県道小浜綾部線	福井県小浜市	立体接続	小浜西インターチェンジ

(4)工事予算

1,040 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道敦賀線(福井県小浜市加斗から福井県小浜市府中まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 敦賀線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福井県小浜市加斗 から
福井県小浜市府中 まで

(ロ) 延 長 11.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福井県小浜市加斗 から	80	11.2	
福井県小浜市府中 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
福井県小浜市加斗	から	2 車線	4 車線	暫定施工
福井県小浜市府中	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	〃
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	〃

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道小浜上中線	福井県小浜市	立体接続	小浜インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

694 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 4 月 17 日

工事の完成予定年月日 平成 23 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

近畿自動車道敦賀線(福井県小浜市府中)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 敦賀線

(2) 工事地区

福井県小浜市府中

(3) 工事地区

(イ) 他の道路との連結

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道小浜上中線	福井県小浜市	立体接続	小浜インターチェンジ(仮称)

(4) 工事予算

29 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 25 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 103,059百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国縦貫自動車道(大阪府吹田市清水から岡山県真庭市下市瀬まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大阪府吹田市清水 から
 岡山県真庭市下市瀬 まで

(ロ) 延 長 181.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大阪府吹田市清水 から 兵庫県宝塚市米谷一丁目 まで	100	16.6	
兵庫県宝塚市米谷一丁目 から 岡山県真庭市下市瀬 まで	80	165.3	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル
3.75メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
大阪府吹田市清水	から	4 車線	4 車線	
大阪府池田市神田三丁目	まで			
大阪府池田市神田三丁目	から	6 車線	6 車線	
兵庫県美囊郡吉川町金会	まで			
兵庫県美囊郡吉川町金会	から	4 車線	4 車線	
岡山県真庭市下市瀬	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.75 × 2	5.50	-	-	-	側帯幅0.75m含む
	3.25 × 2	6.50	-	-	-	
	3.25 × 2	6.50	3.25	1.75	5.00	側帯幅0.5m含む
	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	
	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分	-	-	-	-	-	側帯幅0.75m含む
	-	-	1.00	1.00	2.00	
	-	-	-	-	-	側帯幅0.5m含む
	-	-	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.75m含む
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
	3.25 × 2	6.50	3.25	1.75	5.00	側帯幅0.5m含む
	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	
	1.75 × 2	3.50	1.25	1.00	2.25	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.75m含む
	1.75 × 2	3.50	-	-	-	
	2.50 × 2	5.00	3.25	1.75	5.00	側帯幅0.5m含む
	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	
	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	

区間は上段より次のとおり

第一段 大阪府吹田市清水	~ 大阪府池田市神田三丁目	間
第二段 大阪府池田市神田三丁目	~ 兵庫県宝塚市米谷一丁目	間
第三段 兵庫県宝塚市米谷一丁目	~ 兵庫県西宮市山口町	間
第四段 兵庫県西宮市山口町	~ 兵庫県宍粟市山崎町下広瀬	間
第五段 兵庫県宍粟市山崎町下広瀬	~ 岡山県真庭市下市瀬	間

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50	メートル	(側帯 0.75 メートル×2を含む	土工・橋梁部)
4.00	メートル	(側帯 0.75 メートル×2を含む	土工・橋梁部)
3.00	メートル	(側帯 0.75 メートル×2を含む	土工・橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
近畿自動車道 松原吹田線	大阪府吹田市	立体接続	吹田ジャンクション
府道大阪中央環状線	大阪府吹田市	立体接続	中国吹田インターチェンジ
一般国道176号・府道大阪中央環状線	大阪府豊中市	立体接続	中国豊中インターチェンジ
一般国道176号・府道大阪中央環状線	大阪府池田市	立体接続	中国池田インターチェンジ
一般国道176号・県道尼崎宝塚線	兵庫県宝塚市	立体接続	宝塚インターチェンジ
県道高速北神戸線	兵庫県西宮市	立体接続	西宮山口ジャンクション
県道大沢西宮線	兵庫県西宮市	立体接続	西宮北インターチェンジ
山陽自動車道 吹田山口線	兵庫県神戸市	立体接続	神戸ジャンクション
県道灘三田線	兵庫県神戸市	立体接続	神戸三田インターチェンジ
近畿自動車道 敦賀線	兵庫県美囊郡吉川町	立体接続	吉川ジャンクション
一般国道428号	兵庫県美囊郡吉川町	立体接続	吉川インターチェンジ
県道ひょうご東条インター線	兵庫県加東郡東条町	立体接続	ひょうご東条インターチェンジ
一般国道175号・県道西脇三田線	兵庫県加東郡滝野町	立体接続	滝野社インターチェンジ
県道中北条線	兵庫県加西市	立体接続	加西インターチェンジ
一般国道312号	兵庫県神崎郡福崎町	立体接続	福崎インターチェンジ
一般国道29号	兵庫県宍粟市山崎町	立体接続	山崎インターチェンジ
一般国道373号	兵庫県佐用郡佐用町	立体接続	佐用インターチェンジ
県道作東インター線	岡山県美作市	立体接続	作東インターチェンジ
県道美作奈義線	岡山県美作市	立体接続	美作インターチェンジ
一般国道53号	岡山県津山市	立体接続	津山インターチェンジ
一般国道179号	岡山県津山市	立体接続	院庄インターチェンジ
中国横断自動車道 岡山米子線	岡山県真庭市	立体接続	落合ジャンクション
一般国道313号	岡山県真庭市	立体接続	落合インターチェンジ

(4)工事予算

2,328 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 41 年 7 月 25 日

工事の完成年月日 平成 17 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国縦貫自動車道 263百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国縦貫自動車道(岡山県真庭市下市瀬から広島県山県郡北広島町有田まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県真庭市 下市瀬	から	80	11.9	
岡山県真庭市 五名	まで			
岡山県真庭市 五名	から	60	28.1	
岡山県新見市 高尾	まで			
岡山県新見市 高尾	から	80	108.7	
広島県山県郡 北広島町有田	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(ニ)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岡山県真庭市 下市瀬	から	4車線	4車線	
広島県山県郡 北広島町丁保余原	まで			
広島県山県郡 北広島町丁保余原	から		4車線	
広島県山県郡 北広島町有田	まで			

別 紙 1

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m 含む

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中国横断自動車道 岡山米子線	岡山県真庭市	立体接続	北房ジャンクション
一般国道313号	岡山県真庭市	立体接続	北房インターチェンジ
一般国道180号	岡山県新見市	立体接続	新見インターチェンジ
一般国道182号	広島県庄原市	立体接続	東城インターチェンジ
一般国道432号	広島県庄原市	立体接続	庄原インターチェンジ
一般国道375号 県道三次インター線	広島県三次市	立体接続	三次インターチェンジ
県道三次美土里線	広島県安芸高田市	立体接続	高田インターチェンジ
県道浜田八重可部線	広島県山県郡 北広島町	立体接続	千代田インターチェンジ

(4)工事予算

2,157 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43 年 4 月 1 日

工事の完成年月日 昭和 60 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国縦貫自動車道 263百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国縦貫自動車道(広島県山県郡北広島町有田から山口県周南市大字鹿野上まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 広島県山県郡北広島町有田 から
山口県周南市大字鹿野上 まで

(ロ) 延 長 99.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
広島県山県郡 北広島町有田 から 山口県周南市 大字鹿野上 まで	80	99.3	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
広島県山県郡 北広島町丁保余原	から	4車線		
広島県山県郡 北広島町有田	まで			
広島県山県郡 北広島町有田	から	4車線	4車線	
山口県周南市 大字鹿野上	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中国横断自動車道 広島浜田線	広島県山県郡北広島町	立体接続	千代田ジャンクション
中国横断自動車道 広島浜田線	広島県広島市	立体接続	広島北ジャンクション
一般国道191号	広島県広島市	立体接続	広島北インターチェンジ
一般国道186号	広島県山県郡 安芸太田町	立体接続	戸河内インターチェンジ
一般国道186号	広島県廿日市市	立体接続	吉和インターチェンジ
一般国道187号	島根県鹿足郡 六日市町	立体接続	六日市インターチェンジ

(4)工事予算

3,648億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46年 6月 1日

工事の完成年月日 平成 6年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国縦貫自動車道 263百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国縦貫自動車道(山口県周南市大字鹿野上から山口県美祢市伊佐町伊佐まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山口県周南市大字鹿野上 から
山口県美祢市伊佐町伊佐 まで

(ロ) 延 長 68.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山口県周南市 大字鹿野上 から 山口県美祢市 伊佐町伊佐 まで	80	68.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
山口県周南市 大字鹿野上 山口県美祢市 伊佐町伊佐	から 4車線 まで	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m 含む
	2.50 × 2	5.00				

上段は、山口県周南市大字鹿野上 から 山口県山口市大内 まで
下段は、山口県山口市大内 から 山口県美祢市伊佐町伊佐 まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む) 及び
3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道315号	山口県周南市	立体接続	鹿野インターチェンジ
一般国道489号	山口県佐波郡 徳地町	立体接続	徳地インターチェンジ
一般国道262号	山口県山口市	立体接続	山口インターチェンジ
山陽自動車道 吹田山口線	山口県山口市	立体接続	山口ジャンクション
一般国道9号 県道山口宇部線	山口県吉敷郡 小郡町	立体接続	小郡インターチェンジ
一般国道490号	山口県美祿郡 美東町	立体接続	美東インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

889 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43年 4月 1日

工事の完成予定年月日 平成 21年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国縦貫自動車道 263百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国縦貫自動車道(山口県美祢市伊佐町伊佐から山口県下関市棕野まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山口県美祢市伊佐町伊佐 から
山口県下関市棕野 まで

(ロ) 延 長 42.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山口県美祢市 伊佐町伊佐 から 山口県下関市 棕野 まで	80	42.7	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
山口県美祢市 伊佐町伊佐 山口県下関市 棕野	から 4車線 まで	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00				側帯幅 0.50m 含む
	3.25×2	6.50				
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50×2	5.00				側帯幅 0.50m 含む
	3.25×2	6.50				
橋梁高架部分(長大橋)	2.50×2	5.00				側帯幅 0.50m 含む
	3.25×2	6.50				

上段は、山口県美祢市伊佐町伊佐 から 山口県下関市小月 まで
下段は、山口県下関市小月 から 山口県下関市棕野 まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道435号	山口県美祢市	立体接続	美祢インターチェンジ
県道下関美祢線	山口県美祢市	立体接続	美祢西インターチェンジ
山陽自動車道 宇部下関線	山口県下関市	立体接続	下関ジャンクション
一般国道491号	山口県下関市	立体接続	小月インターチェンジ
一般国道2号 県道下関港線	山口県下関市	立体接続	下関インターチェンジ

(4)工事予算

291 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 41年 7月 25日

工事の完成年月日 平成 10年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国縦貫自動車道 263百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

山陽自動車道吹田山口線(兵庫県神戸市北区有野町二郎から兵庫県三木市別所町和田まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 兵庫県神戸市北区有野町二郎 から
兵庫県三木市別所町和田 まで

(ロ) 延 長 28.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
兵庫県神戸市北区有野町二郎 から 兵庫県三木市別所町和田 まで	100	28.6	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20及びTT-43及び25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員

設計区間		左側車線	右側車線	摘要
兵庫県神戸市北区有野町二郎	から	3.50メートル	3.75メートル	
兵庫県三木市別所町和田	まで			

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
兵庫県神戸市北区有野町二郎	から	4車線	4車線	
兵庫県三木市別所町和田	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員 0.75

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中国縦貫自動車道	兵庫県神戸市	立体接続	神戸ジャンクション
県道灘三田線	兵庫県神戸市	立体接続	神戸北インターチェンジ
山陽自動車道 吹田山口線	兵庫県三木市	立体接続	三木ジャンクション
一般国道28号(神戸淡路鳴門自動車道)	兵庫県神戸市	平面接続	本線
一般国道28号(神戸淡路鳴門自動車道)	兵庫県神戸市	立体接続	神戸西インターチェンジ
県道神戸社線	兵庫県三木市	立体接続	三木東インターチェンジ
一般国道175号	兵庫県三木市	立体接続	三木小野インターチェンジ

(4)工事予算

2,936億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 59年 12月 28日

工事の完成年月日 平成 10年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(兵庫県三木市別所町和田から兵庫県姫路市飾東町豊国まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 兵庫県三木市別所町和田 から
 兵庫県姫路市飾東町豊国 まで

(ロ) 延 長 20.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
兵庫県三木市別所町和田 から 兵庫県姫路市飾東町豊国 まで	100	20.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20 及び TT - 43

(二)車線の幅員

設計区間		左側車線	右側車線	摘要
兵庫県三木市別所町和田	から	3.50メートル	3.75メートル	
兵庫県姫路市飾東町豊国	まで			

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
兵庫県三木市別所町和田	から	4車線	4車線	
兵庫県姫路市飾東町豊国	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅員 0.75

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道加古川北インター線	兵庫県加古川市	立体接続	加古川北インターチェンジ

(4)工事予算

1,105億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63年 3月 11日

工事の完成年月日 平成 9年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

山陽自動車道吹田山口線(兵庫県姫路市飾東町豊国から岡山県備前市八木山まで
及び兵庫県龍野市揖西町土師から兵庫県揖保郡新宮町角亀まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 兵庫県姫路市飾東町豊国 から 及び 兵庫県龍野市揖西町土師
岡山県備前市八木山 まで 兵庫県揖保郡新宮町角亀

(ロ) 延 長 64.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
兵庫県姫路市飾東町豊国	から	100	24.9	
兵庫県龍野市揖西町土師	まで			
兵庫県龍野市揖西町土師	から	80	27.3	
岡山県備前市八木山	まで			
兵庫県龍野市揖西町土師	から	80	12.6	
兵庫県揖保郡新宮町角亀	まで			

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT - 43及び25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル
3.75メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
兵庫県姫路市飾東町豊国	から	4車線	4車線	
岡山県備前市八木山	まで			
兵庫県龍野市揖西町土師	から	2車線	4車線	
兵庫県揖保郡新宮町角亀	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m、0.50m
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
			1.75	1.25	3.00	
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅0.75m、0.50m
	-	-	0.75	0.75	1.50	
	-	-	1.25	1.25	2.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m、0.50m
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅0.75m、0.50m
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
	-	-	1.25	1.25	2.50	

上段 兵庫県姫路市飾東町豊国から兵庫県龍野市揖西町土師まで
 中段 兵庫県龍野市揖西町土師から岡山県備前市八木山まで
 下段 兵庫県龍野市揖西町土師から兵庫県揖保郡新宮町角亀まで

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む 土工・橋梁部)
 3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む 土工・橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道312号、一般国道372号	兵庫県姫路市	立体接続	山陽姫路東インターチェンジ
一般国道29号	兵庫県姫路市	立体接続	山陽姫路西インターチェンジ
県道網干龍野線	兵庫県龍野市	立体接続	龍野インターチェンジ
一般国道2号、県道竜野西インター線	兵庫県龍野市及び兵庫県揖保郡揖保川町	立体接続	龍野西インターチェンジ
山陽自動車道 吹田山口線	兵庫県龍野市	立体接続	播磨ジャンクション
県道岡山赤穂線	兵庫県赤穂市	立体接続	赤穂インターチェンジ
一般国道2号	岡山県備前市	立体接続	備前インターチェンジ
県道播磨新宮インター線	兵庫県揖保郡新宮町	立体接続	播磨新宮インターチェンジ

(4)工事予算

2,985億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 6月 20日

工事の完成年月日 平成 15年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(岡山県備前市八木山から岡山県岡山市富原まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岡山県備前市八木山 から
岡山県岡山市富原 まで

(ロ) 延 長 35.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県備前市 八木山 から 岡山県岡山市 富原 まで	80	35.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
岡山県備前市 八木山 から 岡山県岡山市 富原 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道374号	岡山県和気郡 和気町	立体接続	和気インターチェンジ
県道西大寺山陽線	岡山県赤磐市	立体接続	山陽インターチェンジ

(4)工事予算

1,920億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 60年 3月 5日

工事の完成年月日 平成 6年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(岡山県岡山市富原から岡山県倉敷市船穂町船穂まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岡山県岡山市富原 から

岡山県倉敷市船穂町船穂 まで

(ロ) 延長 24.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

設計区間	道路の区分
岡山県岡山市 富原 から	第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
岡山県岡山市 富原 まで	
岡山県岡山市 富原 から	第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
岡山県倉敷市 船穂町船穂 まで	

別 紙 1

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県岡山市 富原	から	80	0.6	
岡山県岡山市 富原	まで			
岡山県岡山市 富原	から	100	23.8	
岡山県倉敷市 船穂町船穂	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(ニ)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岡山県岡山市 富原	から	4車線	4車線	
岡山県岡山市 富原	まで			
岡山県岡山市 富原	から	4車線	6車線	
岡山県倉敷市 浅原	まで			
岡山県倉敷市 浅原	から	4車線	4車線	
岡山県倉敷市 船穂町船穂	まで			
岡山県倉敷市 船穂町船穂	から	4車線		
岡山県倉敷市 玉島長尾	まで			

別紙 1

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00				側帯幅 0.50 m含む
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75 m含む
トンネル部分						側帯幅 0.50 m含む
			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75 m含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50×2	5.00				側帯幅 0.50 m含む
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75 m含む
橋梁高架部分(長大橋)						側帯幅 0.50 m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75 m含む

上段は、岡山県岡山市富原 から 岡山県岡山市富原 まで
 下段は、岡山県岡山市富原 から 岡山県倉敷市船穂町船穂 まで

(ト)中央帯の標準幅員

設計区間	幅員	摘要
岡山県岡山市 富原 から 岡山県岡山市 富原 まで	3.00メートル	(側帯 0.5メートル×2を含む)
岡山県岡山市 富原 から 岡山県倉敷市 船穂町船穂 まで	4.50メートル	(側帯 0.75メートル×2を含む)

別紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道53号	岡山県岡山市	立体接続	岡山インターチェンジ
中国横断自動車道 岡山米子線	岡山県岡山市	立体接続	岡山ジャンクション
一般国道180号	岡山県岡山市	立体接続	岡山総社インターチェンジ
山陽自動車道 吹田山口線	岡山県倉敷市	立体接続	倉敷ジャンクション
一般国道2号	岡山県都窪郡 早島町	立体接続	早島インターチェンジ
一般国道30号 (瀬戸中央自動車道)	岡山県都窪郡 早島町	平面接続	本線
一般国道429号	岡山県倉敷市	立体接続	倉敷インターチェンジ

(4)工事予算

1,906 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成予定年月日 平成 21年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(岡山県倉敷市船穂町船穂から広島県福山市東村町向山まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岡山県倉敷市船穂町船穂 から
 広島県福山市東村町向山 まで

(ロ) 延 長 49.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県倉敷市 船穂町船穂 から 広島県福山市 東村町向山 まで	100	49.7	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岡山県倉敷市 船穂町船穂 岡山県倉敷市 玉島長尾 から まで		4車線	
岡山県倉敷市 玉島長尾 広島県福山市 東村町戸田 から まで	4車線	4車線	
広島県福山市 東村町戸田 広島県福山市 東村町向山 から まで		4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道倉敷美袋線	岡山県倉敷市	立体接続	玉島インターチェンジ
県道矢掛寄島線	岡山県浅口郡 鴨方町	立体接続	鴨方インターチェンジ
県道笠岡井原線	岡山県笠岡市	立体接続	笠岡インターチェンジ
一般国道182号	広島県福山市	立体接続	福山東インターチェンジ
一般国道2号	広島県福山市	立体接続	福山西インターチェンジ

(4)工事予算

2,746 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 6月 20日

工事の完成年月日 平成 3年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(広島県福山市東村町向山から広島県東広島市河内町入野まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 広島県福山市東村町向山 から
広島県東広島市河内町入野 まで

(ロ) 延長 36.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
広島県福山市 東村町向山 から 広島県東広島市 河内町入野 まで	80	36.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.00 メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
広島県福山市 東村町向山 広島県東広島市 河内町入野	から まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道184号	広島県尾道市	立体接続	尾道インターチェンジ
一般国道486号	広島県三原市	立体接続	三原久井インターチェンジ
県道広島空港本郷線	広島県三原市	立体接続	本郷インターチェンジ

(4)工事予算

1,834 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 60年 5月 28日

工事の完成年月日 平成 6年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

山陽自動車道吹田山口線(広島県東広島市河内町入野から広島県東広島市志和町志和東まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 広島県東広島市河内町入野 から
広島県東広島市志和町志和東 まで

(ロ) 延長 18.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
広島県東広島市 河内町入野 から 広島県東広島市 志和町志和東 まで	80	18.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
広島県東広島市 河内町入野 から 広島県東広島市 志和町志和東 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道432号 県道広島空港線	広島県東広島市	立体接続	河内インターチェンジ
一般国道375号	広島県東広島市	立体接続	東広島ジャンクション(仮称)
一般国道375号	広島県東広島市	立体接続	西条インターチェンジ

(4)工事予算

737 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成予定年月日 平成 23年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

山陽自動車道吹田山口線(広島県東広島市志和町志和東から広島県広島市安佐南区大町西三丁目まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 広島県東広島市志和町志和東 から

広島県広島市安佐南区大町西三丁目 まで

(ロ) 延 長 21.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

設 計 区 間	道 路 の 区 分
広島県東広島市 志和町志和東 から 広島県広島市 東区福田四丁目 まで	第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
広島県広島市 東区福田四丁目 から 広島県広島市 安佐南区大町西三丁目 まで	第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

別 紙 1

(口)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
広島県東広島市 志和町志和東 広島県広島市 東区福田四丁目	から 80 まで	13.9	
広島県広島市 東区福田四丁目 広島県広島市 安佐南区大町西三丁目	から 100 まで	8.0	

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(ニ)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
広島県東広島市 志和町志和東 広島県東広島市 志和町冠	から まで	4車線	
広島県東広島市 志和町冠 広島県広島市 安佐南区緑井一丁目	から 4車線 まで	4車線	
広島県広島市 安佐南区緑井一丁目 広島県広島市 安佐南区大町西三丁目	から まで	4車線	

別紙 1

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50 m含む
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75 m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50 m含む
			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75 m含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50 m含む
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75 m含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50 m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75 m含む

上段は、広島県東広島市志和町志和東 から 広島県広島市東区福田四丁目 まで
 下段は、広島県広島市東区福田四丁目 から 広島県安佐南区大町西三丁目 まで

(ト)中央帯の標準幅員

設計区間	幅員	摘要
広島県東広島市 志和町志和東 から 広島県広島市 東区福田四丁目 まで	3.00 メートル	(側帯 0.5 メートル×2を含む)
広島県広島市 東区福田四丁目 から 広島県広島市 安佐南区大町西三丁目 まで	4.50 メートル	(側帯 0.75 メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道志和インター線	広島県東広島市	立体接続	志和インターチェンジ
県道広島中島線 県道広島東インター線	広島県広島市	立体接続	広島東インターチェンジ
一般国道54号	広島県広島市	立体接続	広島インターチェンジ

(4)工事予算

1,428 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 6 月 20 日

工事の完成予定年月日 平成 19 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

山陽自動車道吹田山口線(広島県広島市安佐南区大町西三丁目から広島県廿日市市宮内まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 広島県広島市安佐南区大町西三丁目 から
広島県廿日市市宮内 まで

(ロ) 延 長 23.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
広島県広島市 安佐南区大町西三丁目 から 広島県廿日市市 宮内 まで	100	23.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
広島県広島市 安佐南区緑井一丁目	から	4車線		
広島県広島市 安佐南区大町西三丁目	まで			
広島県広島市 安佐南区大町西三丁目	から	4車線	4車線	
広島県廿日市市 宮内	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	3.00 × 2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中国横断自動車道 広島浜田線	広島県広島市	立体接続	広島ジャンクション
県道広島湯来線 市道佐伯1区380号線	広島県広島市	立体接続	五日市インターチェンジ
一般国道2号(広島岩国道路)	広島県廿日市市	立体接続	廿日市ジャンクション

(4)工事予算

1,213 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成年月日 昭和 63年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(山口県岩国市小瀬から山口県玖珂郡玖珂町清水まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山口県岩国市小瀬 から
山口県玖珂郡玖珂町清水 まで

(ロ) 延 長 20.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山口県岩国市 小瀬 から 山口県玖珂郡 玖珂町清水 まで	80	20.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
山口県岩国市 小瀬 から 山口県玖珂郡 玖珂町清水 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道2号(広島岩国道路)	広島県大竹市	平面接続	本線
一般国道2号	山口県岩国市	立体接続	岩国インターチェンジ

(4)工事予算

1,188億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成年月日 平成 5年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(山口県玖珂郡玖珂町清水から山口県周南市戸田まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山口県玖珂郡玖珂町清水 から
山口県周南市戸田 まで

(ロ) 延 長 41.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山口県玖珂郡 玖珂町清水 から 山口県周南市 戸田 まで	100	41.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
山口県玖珂郡 玖珂町清水 山口県周南市 戸田	から まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	3.00 × 2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道柳井玖珂線	山口県玖珂郡 玖珂町	立体接続	玖珂インターチェンジ
県道徳山光線	山口県周南市	立体接続	熊毛インターチェンジ
一般国道2号	山口県周南市	立体接続	徳山東インターチェンジ

(4)工事予算

2,040 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成年月日 平成 5年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道吹田山口線(山口県周南市戸田から山口県山口市大字黒川まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 吹田山口線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山口県周南市戸田 から

山口県山口市大字黒川 まで

(ロ) 延 長 31.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

設 計 区 間	道 路 の 区 分
山口県周南市 戸田 から 山口県山口市 大字鑄銭司 まで	第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
山口県山口市 大字鑄銭司 から 山口県山口市 大字黒川 まで	第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

別 紙 1

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山口県周南市 戸田	から	100	25.5	
山口県山口市 大字鑄銭司	まで			
山口県山口市 大字鑄銭司	から	80	6.1	
山口県山口市 大字黒川	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(ニ)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
山口県周南市 戸田	から	4車線	4車線	
山口県山口市 大字黒川	まで			

別紙 1

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75 m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50 m含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75 m含む
			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50 m含む
橋梁高架部分(中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75 m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50 m含む
橋梁高架部分(長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75 m含む
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50 m含む

上段は、山口県周南市戸田 から 山口県山口市大字鑄銭司 まで
 下段は、山口県山口市大字鑄銭司 から 山口県山口市大字黒川 まで

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道2号	山口県周南市	立体接続	徳山西インターチェンジ
一般国道2号	山口県防府市	立体接続	防府東インターチェンジ
一般国道2号	山口県防府市	立体接続	防府西インターチェンジ
一般国道2号	山口県山口市	立体接続	山口南インターチェンジ
中国縦貫自動車道	山口県山口市	立体接続	山口ジャンクション

(4)工事予算

1,501 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 6 月 20 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陽自動車道宇部下関線(山口県宇部市大字川上から山口県下関市吉田まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陽自動車道 宇部下関線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山口県宇部市大字川上 から

山口県下関市吉田 まで

(ロ) 延長 28.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
山口県宇部市 大字川上 から 山口県下関市 吉田 まで	100	28.3	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
山口県宇部市 大字川上 山口県下関市 吉田	から まで	2車線	4車線

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75×2	3.50				側帯幅 0.75m 含む
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	
トンネル部分	1.25×2	2.50	1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.75m 含む
	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	
橋梁高架部分(長大橋)	1.25×2	2.50				側帯幅 0.75m 含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	

上段は、暫定2車線施工
下段は、完成4車線施工

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道山口宇部線	山口県宇部市	立体接続	宇部ジャンクション
一般国道490号	山口県宇部市	立体接続	宇部インターチェンジ
県道小野田山陽線	山口県山陽小野田市	立体接続	小野田インターチェンジ
一般国道2号	山口県山陽小野田市	立体接続	埴生インターチェンジ
中国縦貫自動車道	山口県下関市	立体接続	下関ジャンクション

(4)工事予算

998 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 13 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陽自動車道 1,429百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国横断自動車道岡山米子線(岡山県岡山市高松田中から岡山県真庭市宮地まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 岡山米子線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岡山県岡山市高松田中 から
 岡山県真庭市宮地 まで

(ロ) 延 長 40.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県岡山市 高松田中 から 岡山県真庭市 宮地 まで	80	40.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t 並びに 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岡山県岡山市 高松田中 岡山県加賀郡 吉備中央町西	から 4車線	まで 4車線	
岡山県加賀郡 吉備中央町西 岡山県真庭市 宮地	から 2車線	まで 4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.50m 含む
	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)						側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.50m 含む
	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	

上段 : 暫定2車線施工
下段 : 完成4車線施工

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道484号	岡山県加賀郡 吉備中央町	立体接続	賀陽インターチェンジ
県道高梁旭線	岡山県高梁市	立体接続	有漢インターチェンジ
中国縦貫自動車道	岡山県真庭市	立体接続	北房ジャンクション

(4)工事予算

1,625 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63年 5月 24日

工事の完成予定年月日 平成 21年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国横断自動車道岡山米子線(岡山県岡山市高松田中から岡山県総社市総社まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 岡山米子線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岡山県岡山市高松田中 から
岡山県総社市総社 まで

(ロ) 延 長 3.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県岡山市 高松田中 から 岡山県総社市 総社 まで	80	3.5	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岡山県岡山市 高松田中 岡山県総社市 総社	から まで	4車線化	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分						
橋梁高架部分(中小橋)						
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.50m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

なし

(4)工事予算

75億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 13年 3月 10日

工事の完成予定年月日 平成 17年 10月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

8億円(うち、債務引受基準額 7億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国横断自動車道岡山米子線(岡山県真庭市中河内から岡山県真庭市西茅部まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 岡山米子線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岡山県真庭市中河内 から
 岡山県真庭市西茅部 まで

(ロ) 延 長 30.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県真庭市 中河内 から 岡山県真庭市 西茅部 まで	80	30.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t 並びに 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岡山県真庭市中河内 から 岡山県真庭市西茅部 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分(切土部分)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
	2.25 × 2	4.50	2.25	1.00	3.25	
	2.75 × 2	5.50	2.75	1.00	3.75	
	3.00 × 2	6.00	3.00	1.00	4.00	
土工部分(盛土部分)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m 含む

上段 岡山県真庭市中河内 から 岡山県真庭市榎西 まで (堆雪巾 0.0m)
 中上段 岡山県真庭市榎西 から 岡山県真庭市粟谷 まで (堆雪巾 0.5m)
 中下段 岡山県真庭市粟谷 から 岡山県真庭市藤森 まで (堆雪巾 1.0m)
 下段 岡山県真庭市藤森 から 岡山県真庭市西茅部 まで (堆雪巾 2.0m)

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中国縦貫自動車道	岡山県真庭市	立体接続	落合ジャンクション
一般国道181号	岡山県真庭市	立体接続	久世インターチェンジ
一般国道313号	岡山県真庭市	立体接続	湯原インターチェンジ

(4)工事予算

1,542億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成予定年月日 平成 23年 3月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国横断自動車道岡山米子線(岡山県真庭市社から岡山県真庭市豊栄まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岡山県真庭市 社 岡山県真庭市 豊栄	から まで	4車線化	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	2.25 × 2	4.50	2.25	1.00	3.25	側帯幅 0.50m 含む
	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)						
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m 含む

上段 : 堆雪幅1.0m(切土部分)

下段 : 堆雪幅0.0m(盛土部分)

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

なし

(4)工事予算

66億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 13年 3月 24日

工事の完成予定年月日 平成 17年 10月 31日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

12億円(うち、債務引受基準額 11億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国横断自動車道岡山米子線(岡山県真庭市西茅部から鳥取県米子市赤井手まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 岡山米子線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岡山県真庭市西茅部 から
 鳥取県米子市赤井手 まで

(ロ) 延 長 36.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岡山県真庭市 西茅部 から 鳥取県米子市 赤井手 まで	80	36.3	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
岡山県真庭市 西茅部 鳥取県米子市 赤井手	から まで	2車線	4車線

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分(切土部分) 1	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.50m 含む
	2.25 + 1.75	4.00	2.25	2.25	4.50	
	2.25 + 1.75	4.00	2.25	3.25	5.50	
	2.75 + 1.75	4.50				
	3.00 + 3.00	6.00				
土工部分(盛土部分)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 + 1.25	3.00				側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋) 2	1.75 + 1.25	3.00	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m 含む
	1.75 × 2	3.50				

1 1段目 堆雪幅 0.0m・0.0m
 2段目 堆雪幅 0.5m・0.5m
 3段目 堆雪幅 0.5m・1.5m
 4段目 堆雪幅 1.0m・1.0m
 5段目 堆雪幅 1.5m・2.5m

2 上段 江府IC ~ 米子IC
 下段 蒜山IC ~ 江府IC

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道482号	岡山県真庭市	立体接続	蒜山インターチェンジ
一般国道181号	鳥取県日野郡 江府町	立体接続	江府インターチェンジ
県道倉吉江府溝口線	鳥取県西伯郡 伯耆町	立体接続	溝口インターチェンジ
一般国道9号	鳥取県米子市	平面接続	米子インターチェンジ

(4)工事予算

902 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成年月日 平成 5年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中国横断自動車道尾道松江線(島根県雲南市三刀屋町下熊谷から島根県松江市田和山町まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 尾道松江線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 島根県雲南市三刀屋町下熊谷 から
島根県松江市田和山町 まで

(ロ) 延 長 26.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
島根県雲南市 三刀屋町下熊谷 から 島根県松江市 田和山町 まで	100	26.5	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
島根県雲南市 三刀屋町下熊谷 島根県松江市 田和山町	から まで	2車線	4車線

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(中小橋)						側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.75m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道三刀屋木次インター線	島根県雲南市	立体接続	三刀屋木次インターチェンジ
山陰自動車道 鳥取益田線	島根県松江市	立体接続	宍道ジャンクション
県道宍道インター線	島根県松江市	立体接続	宍道インターチェンジ
一般国道9号	島根県松江市	立体接続	松江玉造インターチェンジ
一般国道9号	島根県松江市	平面接続	本線

(4)工事予算

1,020 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 26 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中国横断自動車道広島浜田線(広島県広島市安佐南区沼田町大字伴から広島県広島市安佐北区安佐町大字飯室まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 広島浜田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 広島県広島市安佐南区沼田町大字伴 から
 広島県広島市安佐北区安佐町大字飯室 まで

(ロ) 延 長 13.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
広島県広島市 安佐南区沼田町大字伴 から 広島県広島市 安佐北区安佐町大字飯室 まで	80	13.8	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
広島県広島市 安佐南区沼田町大字件	から	4車線	4車線	
広島県広島市 安佐北区安佐町大字飯室	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
山陽自動車道 吹田山口線	広島県広島市	立体接続	広島ジャンクション
市道安佐南四区486号線	広島県広島市	立体接続	広島西風新都インターチェンジ

(4)工事予算

593 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成年月日 平成 14年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中国横断自動車道広島浜田線(広島県山県郡北広島町有田から島根県那賀郡旭町大字丸原まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 広島浜田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 広島県山県郡北広島町有田 から
島根県那賀郡旭町大字丸原 まで

(ロ) 延長 38.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
広島県山県郡 北広島町有田 から 島根県那賀郡 旭町大字丸原 まで	80	38.8	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
広島県山県郡 北広島町有田	から	2車線	4車線	
島根県那賀郡 旭町大字丸原	まで			

別紙 1

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分(切土部分) 1	(1.75 + 2.75)	(4.50)				側帯幅 0.50m 含む
	(1.75 + 3.00)	(4.75)				
	(2.25 + 1.75)	(4.00)				
	2.25 + 2.75	5.00	2.25, 2.75	1.00	3.25, 3.75	
	2.75 + 3.00	5.75	2.75, 3.00	1.00	3.75, 4.00	
2.25 + 3.00	5.25	2.25, 3.00	1.00	3.25, 4.00		
土工部分(盛土部分)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	
橋梁高架部分(長大橋) 2	(1.25 + 1.25)	(2.50)				側帯幅 0.50m 含む
	(1.75 + 1.75)	(3.50)				
	1.25 + 1.25	2.50	1.25	1.00	2.25	

()は、暫定施工を示す

1 暫定施工	上段(堆雪幅0.0m・1.0m)	広島県山県郡北広島町有田 から 広島県山県郡北広島町蔵迫 まで
	中断(堆雪幅0.0m・1.5m)	広島県山県郡北広島町蔵迫 から 島根県邑智郡邑南町市木 まで
	下段(堆雪幅0.5m・0.0m)	島根県邑智郡邑南町市木 から 島根県那賀郡旭町大字丸原 まで
完成施工	上段(堆雪幅0.5m・1.0m)	広島県山県郡北広島町有田 から 広島県山県郡北広島町蔵迫 まで
	中断(堆雪幅1.0m・1.5m)	広島県山県郡北広島町蔵迫 から 島根県邑智郡邑南町市木 まで
	下段(堆雪幅0.5m・1.5m)	島根県邑智郡邑南町市木 から 島根県那賀郡旭町大字丸原 まで
2 暫定施工	上段(堆雪幅0.0m・0.0m)	広島県山県郡北広島町有田 から 広島県山県郡北広島町蔵迫 まで
	下段(堆雪幅0.5m・0.5m)	島根県邑智郡邑南町市木 から 島根県那賀郡旭町大字丸原 まで

(ト)中央帯の標準幅員

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中国縦貫自動車道	広島県山県郡 北広島町	立体接続	千代田ジャンクション
一般国道261号	広島県山県郡 北広島町	立体接続	大朝インターチェンジ
県道浜田八重可部線	島根県邑智郡 邑南町	立体接続	瑞穂インターチェンジ

(4)工事予算

736 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54 年 3 月 18 日

工事の完成年月日 平成 4 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中国横断自動車道広島浜田線(島根県那賀郡旭町大字丸原から島根県浜田市長沢町まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中国横断自動車道 広島浜田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 島根県那賀郡旭町大字丸原 から
島根県浜田市長沢町 まで

(ロ) 延 長 17.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
島根県那賀郡 旭町大字丸原 から 島根県浜田市 長沢町 まで	80	17.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
島根県那賀郡 旭町大字丸原 島根県浜田市 長沢町	から まで	2車線	4車線

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分(切土部)	1.75 + 1.75	3.50				側帯幅 0.50m 含む
	2.25 + 1.75	4.00				
土工部分(盛土部)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.50m 含む
トンネル部分	0.75 × 2	1.50				側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 + 1.25	3.00				側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.75 + 1.25	3.00				側帯幅 0.50m 含む

上段 堆雪幅 0.0m・0.0m
下段 堆雪幅 0.5m・0.0m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道浜田八重可部線	島根県那賀郡 旭町	立体接続	旭インターチェンジ
一般国道9号 (江津道路)	島根県浜田市	立体接続	浜田ジャンクション
一般国道9号	島根県浜田市	平面接続	浜田インターチェンジ

(4)工事予算

301億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成年月日 平成 16年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 中国横断自動車道 4,883百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**山陰自動車道鳥取益田線(島根県松江市宍道町伊志見から島根県出雲市知井宮町まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

山陰自動車道 鳥取益田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 島根県松江市宍道町伊志見 から
島根県出雲市知井宮町 まで

(ロ) 延長 18.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
島根県松江市 宍道町伊志見 から 島根県出雲市 知井宮町 まで	100	18.1	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
島根県松江市 六道町伊志見 島根県出雲市 知井宮町	2車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.50m 含む
橋梁高架部分(中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分(長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.75m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中国横断自動車道 尾道松江線	島根県松江市	立体接続	宍道ジャンクション
県道斐川上島線	島根県簸川郡 斐川町	立体接続	斐川インターチェンジ(仮称)
県道西出雲停車場線	島根県出雲市	平面接続	出雲インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

883 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 14 年 3 月 20 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 山陰自動車道 12,551百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(徳島県徳島市川内町鈴江北から徳島県美馬市脇町字拝原まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 徳島県徳島市川内町鈴江北 から
 徳島県美馬市脇町字拝原 まで

(ロ) 延 長 41.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
徳島県徳島市川内町 鈴江北 から 徳島県美馬市脇町字 拝原 まで	80	41.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
徳島県徳島市 川内町鈴江北 徳島県美馬市 脇町字拝原	から 2車線 まで	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

() 暫定施工 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	(2.50+1.75) 2.50×2	(4.25) 5	(2.50) 2.50	(1.75) 1.25	(4.25) 3.75	側帯 幅0.5 m含む
トンネル部分	-	-	(1.00) 1.00	(1.00) 1.00	(2.00) 2.00	"
橋梁高架部分 (中小橋)	(1.75×2) 2.50×2	(3.50) 5.00	(1.75) 2.50	(1.75) 1.25	(3.50) 3.75	"
橋梁高架部分 (長大橋)	(1.25+1.0) 1.75×2	(2.25) 3.5	(1.25) 1.75	(1.00) 1.25	(2.25) 3.00	"

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道11号	徳島県徳島市	平面接続	徳島インターチェンジ
県道徳島引田線	徳島県板野郡 藍住町	立体接続	藍住インターチェンジ
一般国道318号	徳島県阿波市	立体接続	土成インターチェンジ
一般国道193号	徳島県美馬市 脇町	立体接続	脇町インターチェンジ

(4)工事予算

2,050 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 11月 15日

工事の完成年月日 平成 8年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(徳島県美馬市脇町字拝原から徳島県美馬市美馬町字下突出まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 徳島県美馬市脇町字拝原 から
徳島県美馬市美馬町字下突出 まで

(ロ) 延長 11.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
徳島県美馬市 脇町字拝原 から 徳島県美馬市 美馬町字下突出 まで	80	11.5	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
徳島県美馬市 脇町字拝原 から 徳島県美馬市 美馬町字下突出 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.5m含 む
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.5m含 む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.5m含 む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道438号	徳島県美馬市 美馬町	立体接続	美馬インターチェンジ

(4)工事予算

476 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63年 5月 24日

工事の完成年月日 平成 10年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

四国縦貫自動車道(徳島県美馬市美馬町字下突出から愛媛県四国中央市柴生町字河下田山まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 徳島県美馬市美馬町字下突出 から
愛媛県四国中央市柴生町字河下田山 まで

(ロ) 延長 42.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
徳島県美馬市 美馬町字下突出 から 愛媛県四国中央市 柴生町字河下田山 まで	80	42.6	

(八)設計自動車荷重 B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
徳島県美馬市 美馬町字下突出 から 愛媛県四国中央市 柴生町河下田山 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.5m含 む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.5m含 む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.5m含 む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.5m含 む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道32号	徳島県三好郡 井川町	立体接続	井川池田インターチェンジ
四国横断自動車道 阿南中村線	愛媛県四国中央市	立体接続	川の江東ジャンクション

(4)工事予算

2,210 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 12 月 10 日

工事の完成年月日 平成 12 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(愛媛県四国中央市金生町下分から愛媛県四国中央市下柏町まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛媛県四国中央市金生町下分 から
愛媛県四国中央市下柏町 まで

(ロ) 延長 3.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
愛媛県四国中央市 金生町下分 から 愛媛県四国中央市 下柏町 まで	100	3.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県四国中央市 金生町下分 から 愛媛県四国中央市 下柏町 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯巾 員0.75 m含む
トンネル部分	-	-	-	-	-	側帯巾 員0.75 m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯巾 員0.75 m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯巾 員0.75 m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
四国横断自動車道 阿南中村線	愛媛県 四国中央市	立体接続	川之江ジャンクション
一般国道11号	愛媛県 四国中央市	立体接続	三島川之江インターチェンジ

(4)工事予算

187 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 6月 20日

工事の完成年月日 昭和 63年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(愛媛県四国中央市下柏町から愛媛県四国中央市野田まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛媛県四国中央市下柏町 から
 愛媛県四国中央市野田 まで

(ロ) 延 長 11.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛媛県四国中央市 下柏町 から 愛媛県四国中央市 野田 まで	100	11.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県四国中央市 下柏町 から 愛媛県四国中央市 野田 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.75m 含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道11号	愛媛県 四国中央市	立体接続	土居インターチェンジ

(4)工事予算

499 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成年月日 昭和 60年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(愛媛県四国中央市野田から愛媛県西条市飯岡まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛媛県四国中央市野田 から
 愛媛県西条市飯岡 まで

(ロ) 延 長 22.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛媛県四国中央市 野田 から 愛媛県西条市飯岡 まで	100	22.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
愛媛県四国中央市 野田 から 愛媛県西条市飯岡 まで	4 車線	4 車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.75m 含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 新居浜 別子山線	愛媛県 新居浜市	立体接続	新居浜インターチェンジ
一般国道11号	愛媛県 西条市	立体接続	いよ西条インターチェンジ

(4)工事予算

850 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成年月日 平成 3年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(愛媛県西条市飯岡から愛媛県東温市南方まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛媛県西条市飯岡 から
 愛媛県東温市南方 まで

(ロ) 延 長 36.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛媛県西条市飯岡 から 愛媛県東温市南方 まで	80	36.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県西条市飯岡 から 愛媛県東温市南方 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含 む
トンネル部分	0.75×2	1.50	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.5m含 む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.5m含 む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含 む

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む 土工部)

3.00メートル (側帯0.50メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道11号	愛媛県 西条市	立体接続	いよ小松インターチェンジ
一般国道196号 (今治小松道路)	愛媛県 西条市	立体接続	いよ小松ジャンクション
一般国道11号	愛媛県 東温市	立体接続	川内インターチェンジ

(4)工事予算

2,189 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 60年 3月 5日

工事の完成年月日 平成 16年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額

百万円(うち、債務引受基準額 百万円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(愛媛県東温市南方から愛媛県伊予市大字稻荷まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛媛県東温市南方 から
 愛媛県伊予市大字稲荷 まで

(ロ) 延 長 21.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛媛県東温市南方 から 愛媛県伊予市大字稲荷 まで	100	21.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県東温市南方から 愛媛県松山市井門町まで	4車線	4車線	
愛媛県松山市井門町から 愛媛県伊予市大字稲荷まで	2車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯巾員0.75含 側帯巾員0.50含
	1.75×2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯巾員0.75含 側帯巾員0.50含
	1.75×2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯巾員0.75含 側帯巾員0.50含
	1.25×2	2.50	-	-	-	

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道33号	愛媛県 松山市	立体接続	松山インターチェンジ
一般国道56号	愛媛県 伊予市	立体接続	伊予インターチェンジ

(4)工事予算

1,356億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63年 2月 6日

工事の完成年月日 平成 16年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国縦貫自動車道(愛媛県伊予市大字稻荷から愛媛県大洲市東大洲まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国縦貫自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛媛県伊予市大字稲荷 から
 愛媛県大洲市東大洲 まで

(ロ) 延 長 31.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛媛県伊予市大字稲荷 から 愛媛県大洲市東大洲 まで	80	31.8	

(八)設計自動車荷重 B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県伊予市大字稻荷から 愛媛県大洲市東大洲まで	2車線	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯0.5を含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯0.5を含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯0.5を含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯0.5を含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道56号	愛媛県喜多郡 内子町	立体接続	内子五十崎インターチェンジ
一般国道56号	愛媛県 大洲市	平面接続	大洲インターチェンジ

(4)工事予算

1,278 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 12 月 27 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国縦貫自動車道 981百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道阿南中村線
(徳島県小松島市前原町から徳島県鳴門市大津町大代まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道 阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 徳島県小松島市前原町 から
徳島県鳴門市大津町大代 まで

(ロ) 延 長 22.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
徳島県小松島市前原町 から 徳島県鳴門市大津町大代 まで	100	22.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 25トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
徳島県小松島市前原町 から 徳島県鳴門市大津町大代 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2 2.50×2	3.50 5.00				側帯幅 0.75m 含む
トンネル部分	1.25×2	2.50				側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.75m 含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				側帯幅 0.75m 含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道55号	徳島県 小松島市	平面接続	小松島インターチェンジ(仮称)
県道徳島東インター線	徳島県 徳島市	立体接続	徳島東インターチェンジ(仮称)
四国横断自動車道 阿南中村線	徳島県 徳島市	平面接続	徳島ジャンクション(仮称)
四国横断自動車道 阿南中村線	徳島県 鳴門市	平面接続	鳴門ジャンクション(仮称)

(4)工事予算

2,868 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 26 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

四国横断自動車道阿南中村線(徳島県鳴門市撫養町木津から香川県さぬき市津田町鶴羽まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道 阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 徳島県鳴門市撫養町木津 から
香川県さぬき市津田町鶴羽 まで

(ロ) 延長 36.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
徳島県鳴門市 撫養町木津 から 香川県さぬき市 津田町鶴羽 まで	100	36.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 25トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
徳島県鳴門市 撫養町木津 香川県さぬき市 津田町鶴羽	から 2車線 まで	4車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50+1.75	4.25	-	-	-	側帯0.5を含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯0.5を含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯0.5を含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯0.5を含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道11号	徳島県鳴門市	立体接続	鳴門インターチェンジ
一般国道28号 (神戸淡路鳴門自動車道)	徳島県鳴門市	平面接続	本線
県道板野インター線	徳島県板野郡 板野町	立体接続	板野インターチェンジ
県道白鳥引田線	香川県東かが わ市	立体接続	引田インターチェンジ
県道大内白鳥インター線	香川県東かが わ市	立体接続	白鳥大内インターチェンジ
一般国道11号	香川県さぬき 市	立体接続	津田東インターチェンジ
一般国道11号 (高松東道路)	香川県さぬき 市	平面接続	本線

(4)工事予算

1,612 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道阿南中村線(香川県高松市前田東町から香川県高松市勅使町まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 香川県高松市前田東町 から
 香川県高松市勅使町 まで

(ロ) 延 長 10.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
香川県高松市前田東町 から 香川県高松市勅使町 まで	80	10.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 25トン(B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
香川県高松市前田東町 から 香川県高松市勅使町 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	-	-	-	-	-	
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯0.5 を含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.50メートル×2を含む 土工部)

3.00メートル (側帯 0.50メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道11号 (高松東道路)	香川県 高松市	平面接続	本線
一般国道11号	香川県 高松市	立体接続	高松東インターチェンジ
県道中徳三谷高松線	香川県 高松市	立体接続	高松中央インターチェンジ

(4)工事予算

1,209 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5年 12月 4日

工事の完成年月日 平成 15年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道阿南中村線(香川県高松市勅使町から香川県善通寺市金蔵寺町まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 香川県高松市勅使町 から
 香川県善通寺市金蔵寺町 まで

(ロ) 延 長 24.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

設 計 区 間	道 路 区 分
香川県高松市勅使町 から 香川県高松市中間町 まで	第1種第3級(道路構造令)
香川県高松市中間町 から 香川県善通寺市金蔵寺町 まで	第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
香川県高松市勅使町 から 香川県高松市中間町 まで	80	2.5	
香川県高松市中間町 から 香川県善通寺市金蔵寺町 まで	100	21.7	

(八)設計自動車荷重

設計区間	設計自動車荷重
香川県高松市勅使町 から 香川県高松市中間町 まで	25tf(B活荷重)
香川県高松市中間町 から 香川県善通寺市金蔵寺町 まで	TL20及びTT43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
香川県高松市勅使町 から 香川県善通寺市金蔵寺町 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯巾員0.75を含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯巾員0.75を含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯巾員0.75を含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯巾員0.75を含む

(ト)中央帯の標準幅員

設計区間	中央帯の標準幅員
香川県高松市勅使町 から	3.0メートル(側帯0.50×2メートルを含む:土工部)
香川県高松市中間町 まで	3.0メートル(側帯0.50×2メートルを含む:橋梁部)
香川県高松市中間町 から	4.5メートル(側帯0.75×2メートルを含む:土工部)
香川県善通寺市金蔵寺町 まで	4.5メートル(側帯0.75×2メートルを含む:土工部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道11号線	香川県高松市	立体接続	高松壇紙インターチェンジ
県道三木国分寺線	香川県高松市	立体接続	高松西インターチェンジ
四国横断自動車道 阿南中村線	香川県坂出市	立体接続	坂出ジャンクション
一般国道11号線	香川県坂出市	立体接続	坂出インターチェンジ
一般国道30号 (瀬戸中央自動車道)	香川県坂出市	平面接続	本線

(4)工事予算

1,658 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日	昭和 59年 12月 18日 (高松市～善通寺市)
工事の完成年月日	平成 5年 12月 4日 (高松市勅使町～高松市中間町)
	平成 5年 3月 31日 (高松市～善通寺市)
	平成 15年 3月 31日 (高松市勅使町～高松市中間町)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

四国横断自動車道阿南中村線(香川県善通寺市金蔵寺町から愛媛県四国中央市金生町下分)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 香川県善通寺市金蔵寺町 から
 愛媛県四国中央市金生町下分 まで

(ロ) 延 長 35.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

設 計 区 間	道 路 区 分
香川県善通寺市金蔵寺町 から 愛媛県四国中央市金生町下分 まで	第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
香川県善通寺市金蔵寺町 から 愛媛県四国中央市金生町下分 まで	100	35.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重

TL20及びTT43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
香川県善通寺市金蔵寺町 から 愛媛県四国中央市金生町下分 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯巾員0.75を含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯巾員0.75を含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯巾員0.75を含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯巾員0.75を含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道319号線	香川県善通寺市	立体接続	善通寺インターチェンジ
一般国道11号線	香川県三豊郡三野町	立体接続	三豊鳥坂インターチェンジ(仮称)
一般国道11号線	香川県三豊郡豊中町	立体接続	さぬき豊中インターチェンジ
一般国道11号線	香川県三豊郡大野原町	立体接続	大野原インターチェンジ

(4)工事予算

1,482 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 6 月 20 日

工事の完成年月日 昭和 63 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道 阿南中村線 (三豊鳥坂IC(仮称) 新設)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道 阿南中村線

(2) 工事の区間

香川県三豊郡三野町 から

香川県三豊郡高瀬町 まで

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の路線名	備考
三豊鳥坂インターチェンジ (仮称)	香川県三豊郡三野町	一般国道 11号	

(4) 工事予算

7 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 16 年 6 月 29 日

工事の完成予定年月日 平成 18 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

10 億円(うち、債務引受基準額 10 億円)

(平成17年度下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道阿南中村線
(愛媛県四国中央市金生町下分から高知県長岡郡大豊町川口まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道 阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛媛県四国中央市金生町下分 から
 高知県長岡郡大豊町川口 まで

(ロ) 延 長 29.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛媛県四国中央市 金生町下分 から 高知県長岡郡 大豊町川口 まで	80	29.1	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県四国中央市 金生町下分 から 高知県長岡郡 大豊町川口 まで	4車線	4車線	4車線化

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含 む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.5m含 む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含 む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.5m含 む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
四国縦貫自動車道	愛媛県 四国中央市	平面接続	川之江ジャンクション
四国縦貫自動車道	愛媛県 四国中央市	平面接続	川之江東ジャンクション
県道川之江大豊線	愛媛県 四国中央市	立体接続	新宮インターチェンジ

(4)工事予算

2,068 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日

工事の完成予定年月日 平成 21年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道阿南中村線
(高知県長岡郡大豊町川口から高知県南国市領石まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道 阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 高知県長岡郡大豊町川口 から
 高知県南国市領石 まで

(ロ) 延 長 21.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
高知県長岡郡 大豊町川口 から 高知県南国市 領石 まで	80	21.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
高知県長岡郡 大豊町川口 から 高知県南国市 領石 まで	4車線	4車線	4車線化

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	-	-	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道439号	高知県長岡郡 大豊町	立体接続	大豊インターチェンジ
一般国道32号	高知県南国市	立体接続	南国インターチェンジ

(4)工事予算

1,524 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日

工事の完成予定年月日 平成 17年 4月 30日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道阿南中村線
(高知県南国市領石から高知県吾川郡いの町枝川まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道 阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 高知県南国市領石 から
 高知県吾川郡いの町枝川 まで

(ロ) 延 長 17.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
高知県南国市 領石 から 高知県吾川郡 いの町枝川 まで	80	17.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
高知県南国市 領石 から 高知県高知市一宮 まで	4車線	4車線	4車線化
高知県高知市一宮 から 高知県吾川郡 いの町枝川 まで	2車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含 む
	1.75×2	3.50	-	-	-	
トンネル部分	0.75×2	1.50	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.5m含 む
	1.25×2	2.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含 む
	1.75×2	3.50	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含 む
	1.25×2	2.50	-	-	-	

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道55号線 (高知東部自動車道)	高知県高知市	立体接続	高知インターチェンジ
県道高知市北部環状線	高知県高知市	立体接続	高知インターチェンジ
一般国道33号 (高知西バイパス)	高知県吾川郡 いの町	立体接続	伊野インターチェンジ

(4)工事予算

1,147 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63年 3月 11日

工事の完成予定年月日 平成 21年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**四国横断自動車道阿南中村線
(高知県吾川郡いの町枝川から高知県須崎市須崎神田神母ノ内まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

四国横断自動車道 阿南中村線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 高知県吾川郡いの町枝川 から
 高知県須崎市須崎神田神母ノ内 まで

(ロ) 延 長 23.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
高知県吾川郡いの町 枝川 から 高知県須崎市 須崎神田神母ノ内 まで	80	23.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
高知県吾川郡 いの町枝川 から 高知県須崎市 須崎神田神母ノ内 まで	2車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯 幅0.5 m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯 幅0.5 m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯 幅0.5 m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯 幅0.5 m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道56号	高知県土佐市 高岡	立体接続	土佐インターチェンジ
一般国道56号	高知県須崎市 吾井郷	平面接続	須崎東インターチェンジ

(4)工事予算

1,004 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 3 年 1 月 31 日

工事の完成予定年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

四国横断自動車道内海大洲線
(愛媛県西予市宇和町稻生から愛媛県大洲市北只まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 25トン

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県西予市 宇和町稲生 から 愛媛県大洲市北只 まで	2車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
主要地方道宇和 野村線	愛媛県西予市	平面接続	西予宇和インターチェンジ
一般国道56号 一般国道197号	愛媛県大洲市	平面接続	大洲北只インターチェンジ

(4)工事予算

623 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 17 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年下半期工事費 四国横断自動車道 36,348百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(福岡県北九州市門司区大字黒川から福岡県福岡市東区蒲田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福岡県北九州市門司区大字黒川 から
福岡県福岡市東区蒲田 まで

(ロ) 延 長 68.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

別紙 1

(口)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
福岡県北九州市 門司区大字黒川 から 福岡県鞍手郡 若宮町 まで	100	49.1	
福岡県鞍手郡 若宮町 から 福岡県福津市 まで	80	4.8	
福岡県福津市 から 福岡県福岡市 東区蒲田 まで	100	14.4	

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福岡県北九州市 門司区大字黒川 から 福岡県福岡市 東区蒲田 まで	4 車線	4 車線	完成施工

(ヘ)路肩の標準幅員

() 福岡県北九州市門司区大字黒川 から 福岡県北九州市八幡西区大字野面 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.75	3.50	側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

() 福岡県北九州市八幡西区大字野面 から 福岡県福岡市東区蒲田 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	1.75	1.75	3.50	側帯幅 0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.50 メートル (側帯 0.75 メートル×2を含む 土工部)

4.50 メートル (側帯 0.75 メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
市道 北九州都市高速道路4号線及び 県道 黒川白野江東本町線	福岡県北九州市	立体接続	門司インターチェンジ
県道 新門司港大里線	福岡県北九州市	立体接続	新門司インターチェンジ

別 紙 1

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 10号 市道 北九州都市高速道路1号長野横代北町線	福岡県北九州市	立体接続	小倉東インターチェンジ
東九州自動車道	福岡県北九州市	立体接続	北九州ジャンクション(仮称)
一般国道 322号	福岡県北九州市	立体接続	小倉南インターチェンジ
一般国道200号及び 市道 北九州都市高速道路4号線	福岡県北九州市	立体接続	八幡インターチェンジ
県道 直方鞍手線	福岡県鞍手郡 鞍手町	立体接続	筑豊インターチェンジ (仮称)
県道 室木下有木若宮線	福岡県鞍手郡 若宮町	立体接続	若宮インターチェンジ
一般国道3号及び 県道 筑紫野古賀線	福岡県古賀市	立体接続	古賀インターチェンジ

(4) 工事予算

2,361 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43 年 5 月 1 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(福岡県福岡市東区浦田から熊本県熊本市御領まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福岡県福岡市東区浦田 から
熊本県熊本市御領 まで

(ロ) 延長 102.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令) 福岡県福岡市東区浦田 から
福岡県太宰府市水城 まで

第1種第1級(道路構造令) 福岡県太宰府市水城 から
福岡県久留米市東合川町字油手 まで

第1種第2級(道路構造令) 福岡県久留米市東合川町字油手 から
熊本県熊本市御領 まで

別紙 1

(口)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
福岡県福岡市 東区浦田 から 福岡県太宰府市 水城 まで	100	11.7	
福岡県太宰府市 水城 から 福岡県久留米市 東合川町字油手 まで	120	25.4	
福岡県久留米市 東合川町字油手 から 熊本県熊本市 御領 まで	100	65.8	

(八)設計自動車荷重 TL - 20t, TT - 43t 及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

別紙 1

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
福岡県福岡市 東区浦田 から 福岡県太宰府市 水城 まで	4車線	4車線	
福岡県太宰府市 水城 から 福岡県久留米市 東合川町字油手 まで	6車線	6車線	
福岡県久留米市 東合川町字油手 から 熊本県熊本市 御領 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.25 × 2	6.50				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	3.25 × 2	6.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

1級区間	4.50メートル	(側帯	0.75	メートル×2を含む	土工部)
	4.50メートル	(側帯	0.75	メートル×2を含む	橋梁部)
2級区間	4.50メートル	(側帯	0.75	メートル×2を含む	土工部)
	4.50メートル	(側帯	0.75	メートル×2を含む	橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 201号及び 市道 福岡高速4号多の津蒲田線	福岡県福岡市	立体接続	福岡インターチェンジ
一般国道 3号及び 市道福岡高速2号西月隈水城線	福岡県太宰府市	立体接続	太宰府インターチェンジ
県道 筑紫野インター線	福岡県筑紫野市	立体接続	筑紫野インターチェンジ
九州横断自動車道 長崎大分線	佐賀県鳥栖市	立体接続	鳥栖ジャンクション
一般国道 3号及び 一般国道 34号	佐賀県鳥栖市	立体接続	鳥栖インターチェンジ
一般国道 322号	福岡県久留米市	立体接続	久留米インターチェンジ
県道 三瀬上陽線	福岡県八女郡 広川町	立体接続	広川インターチェンジ

別 紙 1

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 442号	福岡県八女市	立体接続	八女インターチェンジ
県道 本吉小川線	福岡県山門郡 瀬高町	立体接続	瀬高インターチェンジ (仮称)
県道 南関大牟田北線	熊本県玉名郡 南関町	立体接続	南関インターチェンジ
県道 玉名山鹿線	熊本県玉名郡 菊水町	立体接続	菊水インターチェンジ
一般国道 3号	熊本県鹿本郡 植木町	立体接続	植木インターチェンジ
一般国道 57号	熊本県熊本市	立体接続	熊本インターチェンジ

(4) 工事予算

1,136 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 41 年 7 月 25 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(熊本県熊本市御領から熊本県宇城市松橋町浦川内まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 熊本県熊本市御領 から
熊本県宇城市松橋町浦川内 まで

(ロ) 延 長 23.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
熊本県熊本市 御領 から 熊本県宇城市 松橋町浦川内 まで	100	23.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 20t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
熊本県熊本市 御領 から 熊本県宇城市 松橋町浦川内 まで	4 車線	4 車線	完成施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00				側帯幅 0.75m含む
トンネル部分	1.00×2	2.00				側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00				側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00				側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 熊本益城大津線	熊本県上益城郡 益城町	立体接続	益城熊本空港インターチェンジ
一般国道 445号	熊本県上益城郡 御船町	立体接続	御船インターチェンジ
一般国道 218号	熊本県宇城市	立体接続	松橋インターチェンジ

(4)工事予算

284 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 43年 4月 1日
 工事の完成年月日 平成 8年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
 (平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(熊本県宇城市松橋町浦川内から熊本県八代市川田町西まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 熊本県宇城市松橋町浦川内 から
熊本県八代市川田町西 まで

(ロ) 延 長 18.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
熊本県宇城市 松橋町浦川内 から 熊本県八代市 川田町西 まで	100	18.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
熊本県宇城市 松橋町浦川内 から 熊本県八代市 川田町西 まで	4車線	4車線	完成施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00				側帯幅 0.75m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00				側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00				側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 3号	熊本県八代市	立体接続	八代インターチェンジ

(4)工事予算

315 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 44 年 4 月 1 日

工事の完成年月日 昭和 55 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(熊本県八代市川田町西から宮崎県えびの市大字永山まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 熊本県八代市川田町西 から
宮崎県えびの市大字永山 まで

(ロ) 延 長 60.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
熊本県八代市 川田町西 から 宮崎県えびの市 大字永山 まで	80	60.8	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t 及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
熊本県八代市 川田町西 から 宮崎県えびの市 大字永山 まで	4 車線	4 車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道3号(南九州自動車道 (八代日奈久道路))	熊本県八代市	立体接続	八代ジャンクション
県道 人吉インター線	熊本県人吉市	立体接続	人吉インターチェンジ

(4)工事予算

3,765 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 48年 10月 19日
 工事の完成年月日 平成 17年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
 (平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 鹿児島線

(宮崎県えびの市大字西長江浦から鹿児島県始良郡加治木町反土まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 鹿児島線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮崎県えびの市大字西長江浦 から
鹿児島県始良郡加治木町反土 まで

(ロ) 延 長 41.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮崎県えびの市 大字西長江浦 から 鹿児島県始良郡 加治木町反土 まで	80	41.2	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
宮崎県えびの市 大字西長江浦 から 鹿児島県始良郡 加治木町反土 まで	4車線	4車線	完成施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
九州縦貫自動車道 宮崎線	宮崎県えびの市	立体接続	えびのジャンクション
県道 栗野加治木線	鹿児島県始良郡 湧水町	立体接続	栗野インターチェンジ
県道 栗野加治木線	鹿児島県始良郡 横川町	立体接続	横川インターチェンジ
一般国道 504号	鹿児島県始良郡 溝辺町	立体接続	溝辺鹿児島空港インターチェンジ

(4)工事予算

610 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 46年 6月 1日
 工事の完成年月日 昭和 57年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
 (平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 鹿児島線

(鹿児島県始良郡加治木町反土から鹿児島県鹿児島市田上まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 鹿児島線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 鹿児島県始良郡加治木町反土 から
鹿児島県鹿児島市田上 まで

(ロ) 延 長 28.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
鹿児島県始良郡 加治木町反土 から 鹿児島県鹿児島市 田上 まで	80	28.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t 及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
鹿児島県始良郡 加治木町反土 から 鹿児島県鹿児島市 田上 まで	4 車線	4 車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道10号(準人道路)	鹿児島県始良郡 加治木町	平面接続	本線
県道 栗野加治木線	鹿児島県始良郡 加治木町	立体接続	加治木インターチェンジ
九州縦貫自動車道 鹿児島線	鹿児島県始良郡 加治木町	立体接続	加治木ジャンクション
県道 麓重富停車場線	鹿児島県始良郡 始良町	立体接続	始良インターチェンジ
県道 鹿児島吉田線	鹿児島県鹿児島市	立体接続	薩摩吉田インターチェンジ
一般国道3号及び 県道 鹿児島北インター線	鹿児島県鹿児島市	立体接続	鹿児島北インターチェンジ
一般国道3号及び 県道 指宿鹿児島インター線	鹿児島県鹿児島市	平面接続	鹿児島インターチェンジ

(4)工事予算

588 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日	昭和	43年	4月	1日
工事の完成年月日	平成	14年	3月	31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
(平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 宮崎線

(宮崎県えびの市大字永山から宮崎県西諸県郡高原町大字西麓まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 宮崎線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮崎県えびの市大字永山 から
宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 まで

(ロ) 延 長 28.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮崎県えびの市 大字永山 から 宮崎県西諸県郡 高原町大字西麓 まで	100	28.5	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 20 t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
宮崎県えびの市 大字永山 から 宮崎県西諸県郡 高原町大字西麓 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	0.75	2.50	
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)

3.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 268号	宮崎県えびの市	立体接続	えびのインターチェンジ
九州縦貫自動車道 鹿児島線	宮崎県えびの市	立体接続	えびのジャンクション
県道 小林えびの高原牧園線	宮崎県小林市	立体接続	小林インターチェンジ
一般国道 221号	宮崎県西諸県郡 高原町	立体接続	高原インターチェンジ

(4)工事予算

243 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 43年 4月 1日

工事の完成年月日 昭和 51年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州縦貫自動車道 宮崎線

(宮崎県西諸県郡高原町大字西麓から宮崎県宮崎市大字本郷北方まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州縦貫自動車道 宮崎線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 から
宮崎県宮崎市大字本郷北方 まで

(ロ) 延 長 54.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮崎県西諸県郡 高原町大字西麓 から 宮崎県宮崎市 大字本郷北方 まで	80	54.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
宮崎県西諸県郡 高原町大字西麓 から 宮崎県宮崎市 大字本郷北方 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.25m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 10号	宮崎県都城市	立体接続	都城インターチェンジ
県道 日南高岡線	宮崎県宮崎郡 田野町	立体接続	田野インターチェンジ
東九州自動車道	宮崎県宮崎郡清武町	立体接続	清武ジャンクション
一般国道 220号及び 県道 宮崎インター-佐土原線	宮崎県宮崎市	平面接続	宮崎インターチェンジ

(4)工事予算

993 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 46年 6月 1日
 工事の完成年月日 昭和 56年 8月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
 (平成17年度下半期工事費 九州縦貫自動車道 366百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(長崎県長崎市早坂町から長崎県長崎市中里町まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 長崎県長崎市早坂町 から
長崎県長崎市中里町 まで

(ロ) 延 長 11.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
長崎県長崎市 早坂町 から	80	11.3	
長崎県長崎市 中里町 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長崎県長崎市 早坂町 から 長崎県長崎市 中里町 まで	2 車線	4 車線	暫定施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5mを含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5mを含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 長崎インター線	長崎県長崎市	平面接続	長崎インターチェンジ
一般国道 34号	長崎県長崎市	立体接続	長崎芒塚インターチェンジ

(4)工事予算

615 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(長崎県長崎市中里町から長崎県大村市池田まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 長崎県長崎市中里町 から
長崎県大村市池田 まで

(ロ) 延 長 17.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
長崎県長崎市 中里町 から 長崎県大村市 池田 まで	100	17.0	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
長崎県長崎市 中里町 から 長崎県大村市 池田 まで	4車線	4車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	
トンネル部分	1.00×2	2.00	1.00	1.00	2.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 34号	長崎県長崎市及び 長崎県諫早市	立体接続	長崎多良見インターチェンジ
一般国道 34号	長崎県諫早市	立体接続	諫早インターチェンジ
一般国道 444号	長崎県大村市	立体接続	大村インターチェンジ

(4)工事予算

603 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 47年 6月 20日

工事の完成年月日 昭和 58年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(長崎県大村市池田から佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

長崎県大村市池田 から
佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿 まで

(ロ) 延 長

23.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第 1 種 第 2 級 (道路構造令) 長崎県大村市池田 から
長崎県東彼杵郡東彼杵町大字彼杵宿郷 まで第 1 種 第 3 級 (道路構造令) 長崎県東彼杵郡東彼杵町大字彼杵宿郷 から
佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿 まで

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
長崎県大村市 池田 　　　　　　から 長崎県東彼杵郡 東彼杵町大字彼杵宿郷 　　　　　　まで	100	13.5	
長崎県東彼杵郡 東彼杵町大字彼杵宿郷 　　　　　　から 佐賀県藤津郡 嬉野町大字下宿 　　　　　　まで	80	9.8	

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(ニ)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
長崎県大村市 池田 　　　　　　から 佐賀県藤津郡 嬉野町大字下宿 　　　　　　まで	4 車線	4 車線	

別紙 1

(へ)路肩の標準幅員

()長崎県大村市池田 から 長崎県東彼杵郡東彼杵町大字彼杵宿郷 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.75m含む

()長崎県東彼杵郡東彼杵町大字彼杵宿郷 から 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.25m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

() 長崎県大村市池田 から 長崎県東彼杵郡東彼杵町大字彼杵宿郷 まで
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

() 長崎県東彼杵郡東彼杵町大字彼杵宿郷 から 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿 まで
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 34号	長崎県東彼杵郡 東彼杵町	立体接続	東そのぎインターチェンジ

(4)工事予算

998 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 54年 3月 18日
 工事の完成年月日 平成 10年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿から佐賀県杵島郡北方町大字大崎まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿
佐賀県杵島郡北方町大字大崎から
まで

(ロ) 延長

15.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第1種第3級(道路構造令)

佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿
佐賀県武雄市西川登町大字小田志から
まで

第1種第2級(道路構造令)

佐賀県武雄市西川登町大字小田志
佐賀県杵島郡北方町大字大崎から
まで

別紙 1

(ロ)設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
佐賀県藤津郡 嬉野町大字下宿 から 佐賀県武雄市 西川登町大字小田志 まで	80	1.0	
佐賀県武雄市 西川登町大字小田志 から 佐賀県杵島郡 北方町大字大崎 まで	100	14.8	

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(ニ)車線の幅員 3.50 メートル

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
佐賀県藤津郡 嬉野町大字下宿 から 佐賀県杵島郡 北方町大字大崎 まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

() 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿 から 佐賀県武雄市西川登町大字小田志 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)						
橋梁高架部分 (長大橋)			1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

() 佐賀県武雄市西川登町大字小田志 から 佐賀県杵島郡北方町大字大崎 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)						
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

() 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿 から 佐賀県武雄市西川登町大字小田志 まで

3.00 メートル (側帯 0.5 メートル×2を含む 土工部)

3.00 メートル (側帯 0.5 メートル×2を含む 橋梁部)

() 佐賀県武雄市西川登町大字小田志 から 佐賀県杵島郡北方町大字大崎 まで

4.50 メートル (側帯 0.75 メートル×2を含む 土工部)

4.50 メートル (側帯 0.75 メートル×2を含む 橋梁部)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 佐世保嬉野線	佐賀県藤津郡 嬉野町	立体接続	嬉野インターチェンジ
一般国道 497号 西九州自動車道(武雄佐世保道路)	佐賀県武雄市	立体接続	武雄ジャンクション

(4)工事予算

514 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 11 月 15 日

工事の完成年月日 平成 2 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(佐賀県杵島郡北方町大字大崎から佐賀県鳥栖市永吉町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 佐賀県杵島郡北方町大字大崎 から
佐賀県鳥栖市永吉町(縦貫道の交点) まで

(ロ) 延 長 52.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
佐賀県杵島郡 北方町大字大崎 から 佐賀県鳥栖市 永吉町 まで	100	52.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
佐賀県杵島郡 北方町大字大崎 から 佐賀県鳥栖市 永吉町 まで	4車線	4車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 34号	佐賀県武雄市及び 佐賀県杵島郡北方町	立体接続	武雄北方インターチェンジ
一般国道 203号	佐賀県多久市	立体接続	多久インターチェンジ
一般国道 263号	佐賀県佐賀郡 大和町	立体接続	佐賀大和インターチェンジ
一般国道 385号	佐賀県神埼郡 東脊振村	立体接続	東脊振インターチェンジ
九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線	佐賀県鳥栖市	立体接続	鳥栖ジャンクション

(4)工事予算

1,484 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 6 月 20 日

工事の完成年月日 昭和 62 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(佐賀県鳥栖市永吉町から大分県日田市大字渡里まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間

佐賀県鳥栖市永吉町
大分県日田市大字渡里から
まで

(ロ) 延長

41.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第1種第2級(道路構造令)

佐賀県鳥栖市永吉町 から
福岡県朝倉郡杷木町大字寒水 まで

第1種第3級(道路構造令)

福岡県朝倉郡杷木町大字寒水 から
大分県日田市大字渡里 まで

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
佐賀県鳥栖市 永吉町 から 福岡県朝倉郡 杷木町大字寒水 まで	100	27.5	
福岡県朝倉郡 杷木町大字寒水 から 大分県日田市 大字渡里 まで	80	14.0	

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(ニ)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
佐賀県鳥栖市 永吉町 から 大分県日田市 大字渡里 まで	4 車線	4 車線	

別紙 1

(へ)路肩の標準幅員

() 佐賀県鳥栖市永吉町 から 福岡県朝倉郡杷木町大字寒水 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.75m含む

() 福岡県朝倉郡杷木町大字寒水 から 大分県日田市大字渡里 まで (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.5m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

- () 佐賀県鳥栖市永吉町 から 福岡県朝倉郡杷木町大字寒水 まで
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)
- () 福岡県朝倉郡杷木町大字寒水 から 大分県日田市大字渡里 まで
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 久留米筑紫野線	福岡県小郡市	立体接続	筑後小郡インターチェンジ
県道 東田頓田線	福岡県甘木市	立体接続	甘木インターチェンジ
県道 甘木朝倉田主丸線	福岡県朝倉郡 朝倉町	立体接続	朝倉インターチェンジ
一般国道 386号	福岡県朝倉郡 杷木町	立体接続	杷木インターチェンジ
一般国道 212号	大分県日田市	立体接続	日田インターチェンジ

別 紙 1

(4)工事予算

1,502 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 10 月 19 日

工事の完成年月日 平成 11 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(大分県日田市大字渡里から大分県玖珠郡玖珠町大字帆足まで)に関する

工事の内容並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大分県日田市大字渡里 から
大分県玖珠郡玖珠町大字帆足 まで

(ロ) 延 長 24.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大分県日田市 大字渡里 から 大分県玖珠郡 玖珠町大字帆足 まで	80	24.7	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
大分県日田市 大字渡里 から 大分県玖珠郡 玖珠町大字帆足 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5mを含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.5mを含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.50メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)

3.50メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 玖珠天瀬線	大分県玖珠郡 玖珠町	立体接続	天瀬高塚インターチェンジ
一般国道 387号	大分県玖珠郡 玖珠町	立体接続	玖珠インターチェンジ

(4)工事予算

927 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 54年 3月 18日

工事の完成年月日 平成 12年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(大分県玖珠郡玖珠町大字帆足から大分県大分郡湯布院町大字川北まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足 から
大分県大分郡湯布院町大字川北 まで

(ロ) 延 長 21.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大分県玖珠郡 玖珠町大字帆足 から 大分県大分郡 湯布院町大字川北 まで	80	21.8	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t 及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
大分県玖珠郡 玖珠町大字帆足 から 大分県大分郡 湯布院町大字川北 まで	4車線	4車線	

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	1.75	1.75	3.50	
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分			1.25	1.25	2.50	
			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.75	3.50	
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.25	2.50	
	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 飯田高原中村線	大分県玖珠郡 九重町	立体接続	九重インターチェンジ

(4)工事予算

816 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 60 年 3 月 5 日
 工事の完成年月日 平成 17 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
 (平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(大分県大分郡湯布院町大字川北から大分県大分市大字荏隈まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大分県大分郡湯布院町大字川北 から
大分県大分市大字荏隈 まで

(ロ) 延 長 42.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大分県大分郡 湯布院町大字川北 から	80	42.0	
大分県大分市 大字荏隈 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t 及び B活荷重

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大分県大分郡 湯布院町大字川北 から 大分県速見郡 日出町大字南畑 まで	4 車線	4 車線	
大分県速見郡 日出町大字南畑 から 大分県大分市 大字荏隈 まで	4 車線	4 車線	

別 紙 1

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	

(ト)中央帯の標準幅員

3.00 メートル (側帯 0.5 メートル×2を含む 土工部)

3.00 メートル (側帯 0.5 メートル×2を含む 橋梁部)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 210号	大分県大分郡 湯布院町	立体接続	湯布院インターチェンジ
九州横断自動車道 長崎大分線	大分県速見郡 日出町	立体接続	日出ジャンクション
一般国道 10号(宇佐別府道路 及び日出バイパス)	大分県速見郡 日出町	立体接続	速見インターチェンジ
県道 別府一の宮線	大分県別府市	立体接続	別府インターチェンジ
県道 大分臼杵線	大分県大分市	立体接続	大分インターチェンジ

(4)工事予算

1,755 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 10 月 19 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

九州横断自動車道 長崎大分線

(大分県大分市大字荏隈から大分県大分市大字片島まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

九州横断自動車道 長崎大分線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大分県大分市大字荏隈 から
大分県大分市大字片島 まで

(ロ) 延 長 7.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大分県大分市 大字荏隈 から	80	7.8	
大分県大分市 大字片島 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大分県大分市 大字荏隈	4 車線	4 車線	
から 大分県大分市 大字片島			
まで			

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 210号 県道 下世利寒田線	大分県大分市	立体接続	大分光吉インターチェンジ
一般国道 10号	大分県大分市	立体接続	大分米良インターチェンジ

(4)工事予算

683 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2年 5月 15日
 工事の完成予定年月日 平成 20年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
 (平成17年度下半期工事費 九州横断自動車道 1,101百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(福岡県北九州市小倉南区大字堀越から福岡県京都郡苅田町大字雨窪まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福岡県北九州市小倉南区大字堀越 から
福岡県京都郡苅田町大字雨窪 まで

(ロ) 延 長 8.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福岡県北九州市 小倉南区大字堀越 から	100	8.2	
福岡県京都郡 苅田町大字雨窪 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福岡県北九州市 小倉南区大字堀越 から 福岡県京都郡 苅田町大字雨窪 まで	4 車線	4 車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m
トンネル部分			1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.5	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.75m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
九州縦貫自動車道 鹿児島線宮崎線	福岡県北九州市	立体接続	北九州ジャンクション (仮称)
県道 新門司苅田線	福岡県京都郡苅田町	立体接続	苅田北九州空港インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

659 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10年 1月 20日
 工事の完成予定年月日 平成 18年 2月 28日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

98 億円(うち、債務引受基準額 89 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(福岡県京都郡苅田町大字雨窪から福岡県行橋市大字上検地まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福岡県京都郡苅田町大字雨窪 から
福岡県行橋市大字上検地 まで

(ロ) 延 長 8.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設 計 速 度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福岡県京都郡 苅田町大字雨窪 から 福岡県行橋市 大字上検地 まで	100	8.6	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工 事 施 工	用 地 買 収	摘 要
福岡県京都郡 苅田町大字雨窪 から 福岡県行橋市 大字上検地 まで	2 車線	4 車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 201号	福岡県行橋市	立体接続	行橋インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

526 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 1 月 20 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(福岡県行橋市大字上検地から福岡県京都郡豊津町大字下原まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 福岡県行橋市大字上検地 から
福岡県京都郡豊津町大字下原 まで

(ロ) 延 長 7.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福岡県行橋市 大字上検地 から	100	7.9	
福岡県京都郡 豊津町大字下原 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
福岡県行橋市 大字上検地 から 福岡県京都郡 豊津町大字下原 まで	2車線	4車線	暫定施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 10号	福岡県京都郡 豊津町	立体接続	豊津インターチェンジ
一般国道 10号 (椎田道路)	福岡県京都郡 豊津町	平面接続	本線

(4)工事予算

467 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11年 1月 8日

工事の完成予定年月日 平成 25年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(大分県大分市大字片島から大分県津久見市大字上青江まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大分県大分市大字片島 から
大分県津久見市大字上青江 まで

(ロ) 延 長 27.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大分県大分市 大字片島 から 大分県津久見市 大字上青江 まで	100	27.2	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大分県大分市 大字片島 から 大分県大分市 大字宮河内 まで	4 車線	4 車線	
大分県大分市 大字宮河内 から 大分県津久見市 大字上青江 まで	2 車線	4 車線	

別 紙 1

(へ)路肩の標準幅員

() 大分県大分市大字片島 から 大分県大分市大字宮河内 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00				側帯幅 0.5mを含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5mを含む

() 大分県大分市大字宮河内 から 大分県津久見市大字上青江 (単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5mを含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5mを含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

- () 大分県大分市大字片島 から 大分県大分市大字宮河内
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 土工部)
 4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む 橋梁部)

- () 大分県大分市大字宮河内 から 大分県津久見市大字上青江

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 197号	大分県大分市	立体接続	大分宮河内インターチェンジ
一般国道 502号	大分県臼杵市	立体接続	臼杵インターチェンジ
一般国道 217号	大分県津久見市	立体接続	津久見インターチェンジ

(4)工事予算

1,285 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 14 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(大分県津久見市大字上青江から大分県佐伯市大字上岡まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大分県津久見市大字上青江 から
大分県佐伯市大字上岡 まで

(ロ) 延 長 13.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大分県津久見市 大字上青江 から 大分県佐伯市 大字上岡 まで	100	13.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大分県津久見市 大字上青江 から 大分県佐伯市 大字上岡 まで	2車線	4車線	暫定施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 佐伯津久見線	大分県佐伯市	立体接続	佐伯インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

836 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 1 月 16 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(大分県佐伯市大字上岡から大分県佐伯市蒲江大字森崎浦まで)に関する

工事の内容並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 大分県佐伯市大字上岡 から
大分県佐伯市蒲江大字森崎浦 まで

(ロ) 延 長 20.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
大分県佐伯市 大字上岡 から	100	20.3	
大分県佐伯市 蒲江大字森崎浦 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
大分県佐伯市 大字上岡 から 大分県佐伯市 蒲江大字森崎浦 まで	2車線	4車線	暫定施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 388号	大分県佐伯市	立体接続	蒲江インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

869 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 26 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(宮崎県東臼杵郡門川町大字加草から宮崎県児湯郡都農町大字川北まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮崎県東臼杵郡門川町大字加草 から
 宮崎県児湯郡都農町大字川北 まで

(ロ) 延 長 34.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮崎県東臼杵郡 門川町大字加草 から	100	34.0	
宮崎県児湯郡 都農町大字川北 まで			

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮崎県東臼杵郡 門川町大字加草 から 宮崎県児湯郡 都農町大字川北 まで	2車線	4車線	暫定施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分			1.25	1.25	2.50	側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 10号(延岡南道路)	宮崎県東臼杵郡 門川町	平面接続	本線
一般国道 10号	宮崎県東臼杵郡 門川町	立体接続	門川インターチェンジ (仮称)
一般国道 327号	宮崎県日向市	立体接続	日向インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

1,410 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11年 1月 8日

工事の完成予定年月日 平成 26年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(宮崎県児湯郡都農町大字川北から宮崎県西都市大字岡富まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮崎県児湯郡都農町大字川北 から
宮崎県西都市大字岡富 まで

(ロ) 延 長 24.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮崎県児湯郡 都農町大字川北 から 宮崎県西都市 大字岡富 まで	100	24.9	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
宮崎県児湯郡 都農町大字川北 から 宮崎県西都市 大字岡富 まで	2車線	4車線	暫定施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 都農綾線	宮崎県児湯郡 都農町	立体接続	都農インターチェンジ (仮称)
県道 石河内高城高鍋線	宮崎県児湯郡 高鍋町	立体接続	高鍋インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

870 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 1 月 16 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(宮崎県西都市大字岡富から宮崎県宮崎郡清武町大字今泉まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 宮崎県西都市大字岡富 から
 宮崎県宮崎郡清武町大字今泉 まで

(ロ) 延 長 26.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
宮崎県西都市 大字岡富 から 宮崎県宮崎郡 清武町大字今泉 まで	100	26.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
宮崎県西都市 大字岡富 から 宮崎県宮崎郡 清武町大字今泉 まで	2車線	4車線	暫定施工

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				側帯幅 0.5m含む

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備考
県道 西都インター線	宮崎県西都市	立体接続	西都インターチェンジ
一般国道 10号	宮崎県宮崎市	立体接続	宮崎西インターチェンジ
県道 清武インター線	宮崎県宮崎郡 清武町	立体接続	清武インターチェンジ
九州縦貫自動車道 宮崎線	宮崎県宮崎郡 清武町	立体接続	清武ジャンクション

(4)工事予算

904 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 13 年 3 月 31 日

別 紙 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

	億円(うち、債務引受基準額	億円)
(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道	45,960	百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

東九州自動車道

(鹿児島県曾於市末吉町深川から鹿児島県始良郡隼人町真孝まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

東九州自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 鹿児島県曾於市末吉町深川 から
鹿児島県始良郡隼人町真孝 まで

(ロ) 延 長 27.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
鹿児島県曾於市 末吉町深川 から	100	27.3	
鹿児島県始良郡 隼人町真孝 まで			

別紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
鹿児島県曾於市 末吉町深川 から 鹿児島県始良郡 隼人町真孝 まで	2車線	4車線	暫定施工

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5mを含む
トンネル部分	1.25×2	2.50				側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5mを含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				側帯幅 0.5mを含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 10号	鹿児島県曾於市	立体接続	末吉財部インターチェンジ
一般国道 10号	鹿児島県国分市	立体接続	国分インターチェンジ
県道 隼人港線	鹿児島県始良郡 隼人町	立体接続	隼人東インターチェンジ
一般国道10号(隼人道路)	鹿児島県始良郡 隼人町	平面接続	本線

(4)工事予算

898 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 14 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)

(平成17年度下半期工事費 東九州自動車道 45,960百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**関西国際空港線(大阪府泉佐野市上之郷から関西国際空港まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20及びTT-43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
大阪府泉佐野市上之郷 関西国際空港	から まで	4 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	-	-	-	-	-	
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅0.5m

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
近畿自動車道 松原那智勝浦線	大阪府泉佐野市	立体接続	泉佐野ジャンクション
一般国道481号	大阪府泉佐野市	立体接続	上之郷インターチェンジ
一般国道481号	大阪府泉佐野市	立体接続	泉佐野インターチェンジ
府道高速湾岸線	大阪府泉佐野市	立体接続	りんくうジャンクション
関西国際空港	大阪府泉佐野市	平面接続	本線

(4)工事予算

1,309億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 61年 6月 6日

工事の完成年月日 平成 6年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 関西国際空港線 - 百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

関門自動車道

(山口県下関市棕野町から福岡県北九州市門司区大字黒川まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

関門自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山口県下関市棕野町 から
福岡県北九州市門司区大字黒川 まで

(ロ) 延 長 9.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山口県下関市 棕野町 から 福岡県北九州市 門司区大字黒川 まで	80	9.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 20t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山口県下関市 棕野町 から 福岡県北九州市 門司区大字門司 まで	6 車線	6 車線	
福岡県北九州市 門司区大字門司 から 福岡県北九州市 門司区大字黒川 まで	4 車線	4 車線	

別 紙 1

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.25 × 2	4.50	2.25	0.75	3.00	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.25m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.25 × 2	4.50				側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.25 × 2	4.50	2.25	0.50	2.75	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (吊橋)	1.25 × 2	2.50				側帯幅 0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.00 メートル (側帯 0.5 メートル × 2を含む 土工部・橋梁部(吊橋除く))
 2.50 メートル (側帯 0.5 メートル × 2を含む 吊橋部)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道 黒川白野江東本町線	福岡県北九州市	立体接続	門司港インターチェンジ
県道 黒川白野江東本町線及び 市道北九州都市高速道路4号線	福岡県北九州市	立体接続	門司インターチェンジ

(4)工事予算

306 億円

(5)工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 43 年 4 月 1 日

工事の完成年月日 昭和 52 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
(平成17年度下半期工事費 関門自動車道 百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

沖縄自動車道

(沖縄県名護市字許田から沖縄県うるま市石川まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

沖縄自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 沖縄県名護市字許田 から
 沖縄県うるま市石川 まで

(ロ) 延 長 25.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
沖縄県名護市 字許田 から 沖縄県うるま市 石川 まで	80	25.9	

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
沖縄県名護市 字許田 から 沖縄県うるま市 石川 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				側帯幅 0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				側帯幅 0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)
 4.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 58号	沖縄県名護市	平面接続	許田インターチェンジ
一般国道 329号	沖縄県国頭郡 宜野座村	立体接続	宜野座インターチェンジ
一般国道 329号	沖縄県国頭郡 金武町	立体接続	金武インターチェンジ
県道 屋嘉恩納線	沖縄県国頭郡 金武町	立体接続	屋嘉インターチェンジ
県道 石川仲泊線	沖縄県うるま市	立体接続	石川インターチェンジ

(4)工事予算

438 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日 昭和 62 年 8 月 15 日

工事の完成年月日 昭和 63 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

億円(うち、債務引受基準額 億円)
(平成17年度下半期工事費 沖縄自動車道 百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

沖縄自動車道

(沖縄県うるま市石川から沖縄県那覇市首里崎山町まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

沖縄自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 沖縄県うるま市石川 から
沖縄県那覇市首里崎山町 まで

(ロ) 延 長 31.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
沖縄県うるま市 石川 から 沖縄県那覇市 首里崎山町 まで	80	31.4	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 TL - 20t 及び TT - 43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
沖縄県うるま市 石川 から 沖縄県那覇市 首里崎山町 まで	4 車線	4 車線	

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50 × 2	5.00				側帯幅 0.5m含む
トンネル部分	0.75 × 2	1.50				
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50				

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 土工部)

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道 329号	沖縄県沖縄市	立体接続	沖縄北インターチェンジ
県道 23号	沖縄県沖縄市	立体接続	沖縄南インターチェンジ
県道 35号	沖縄県中頭郡 北中城村	立体接続	北中城インターチェンジ
一般国道 330号	沖縄県浦添市	立体接続	西原インターチェンジ
一般国道 506号 (南風原道路)	沖縄県中頭郡 西原町	立体接続	西原ジャンクション
県道 那覇系満線	沖縄県那覇市	平面接続	那覇インターチェンジ

(4)工事予算

1,407 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の年月日

工事の着手年月日	昭和	54年	3月	17日
工事の完成年月日	平成	13年	3月	31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

	億円(うち、債務引受基準額	億円)
(平成17年度下半期工事費 沖縄自動車道		百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中央自動車道西宮線(滋賀県栗東市小野から滋賀県大津市大江八丁目まで)(改築)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別紙 1

(八)設計自動車荷重 TL-20トン及びTT-43トン

(二)車線の幅員

設計区間		左側車線	中央車線	右側車線	摘要
滋賀県栗東市小野	から	3.50メートル	3.75メートル	3.50メートル	
滋賀県大津市大江八丁目	まで				

(ホ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
滋賀県栗東市小野	から	2車線	2車線	片側を1車線ずつ増設し、4車線を6車線にする。
滋賀県大津市大江八丁目	まで			

(ハ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00	3.00	-	-	-	側帯幅員 0.75
トンネル部分	-	-	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00	3.50	-	-	-	側帯幅員 0.75
橋梁高架部分 (長大橋)	3.25	3.25	-	-	-	側帯幅員 0.75

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道1号、一般国道8号、県道上砥山上鉤線	滋賀県栗東市	立体接続	栗東インタ - チェンジ
一般国道1号(京滋バイパス) 県道大津能登川長浜線	滋賀県大津市	立体接続	瀬田東インタ - チェンジ

(4)工事予算

510億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 62年 3月 24日

工事の完成年月日 平成 12年 3月 31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 2,159百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(京都府京都市伏見区竹田青池町から大阪府吹田市清水まで)(改築)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道 西宮線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 京都府京都市伏見区竹田青池町 から
大阪府吹田市清水 まで

(ロ) 延 長 30.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
京都府京都市伏見区竹田青池 から 大阪府吹田市清水 まで	80	30.5	

別紙 1

(八)設計自動車荷重

設計区間	設計自動車荷重	摘要
京都府京都市伏見区竹田青池町から 大阪府吹田市清水まで	TL-20トン及びTT-43トン	改築区間
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺から 京都府八幡市八幡長町まで	25 tf (B活荷重)	別線区間

(二)車線の幅員

区間	左側車線	中央車線	右側車線	適用
両側拡幅区間	3.50	3.75	3.50	
分離区間	3.50		3.50	片側 2車線×2
別線区間	3.50		3.50	片側 2車線×2

(ホ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
京都府京都市伏見区竹田青池町 から 京都府長岡京市勝竜寺 まで	2車線 (6)	2車線 (6)	片側を1車線づつ増設し、4車線を6車線とする。
大阪府高槻市梶原一丁目 から			
大阪府吹田市清水 まで			

別紙 1

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
京都府長岡京市勝竜寺	から	4車線 (8)	4車線 (8)	トンネル区間は、 分離構造とし、2 車線トンネルを2本 新設する。
大阪府高槻市梶原一丁目	まで			
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	から	4車線	4車線	別線区間 (新設)
京都府八幡市八幡長町	まで			

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

上段:新設部 中段:既設部 下段:別線部

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	盛土 切土
			2.60	1.10	3.70	
トンネル部分			2.60	1.10	3.70	A-OUT
			1.00	1.00	2.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	片2,3車 片4車
			4.00	3.35	7.35	
橋梁高架部分 (長大橋)	3.25×2	6.50	2.60	0.85	3.45	片3車 片2車 片2車 片4車
			3.25	1.25	4.50	
			3.50	1.25	4.75	
			2.50	1.25	3.75	
			2.65	3.60	6.25	
		1.85	0.85	2.70		
	1.75×2					別線部

別紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

設計区間	中央帯の標準幅員	摘要
京都府京都市伏見区竹田青池町 から 大阪府吹田市清水 まで	4.50	側帯 0.75×2を含む。
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺 から 京都府八幡市八幡長町 まで	3.00	側帯 0.75×2を含む。

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道1号・府道六地藏下鳥羽線	京都府京都市	立体接続	京都南インターチェンジ
一般国道171号	京都府乙訓郡大山崎町	立体接続	大山崎インターチェンジ
一般国道478号(京都縦貫自動車道)	京都府乙訓郡大山崎町	立体接続	大山崎ジャンクション
一般国道478号	京都府八幡市	立体接続	久御山淀インターチェンジ
一般国道478号(京滋バイパス)	京都府八幡市	平面接続	本線
一般国道171号	大阪府茨木市	立体接続	茨木インターチェンジ
府道大阪中央環状線	大阪府吹田市	立体接続	吹田インターチェンジ

(4)工事予算

5,667 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 59 年 2 月 2 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 2,159百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(竜王IC 新設)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道西宮線

(2) 工事地区

滋賀県蒲生郡竜王町大字小口

(3) 工事方法

(イ) 他の道路との連結

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道477号	滋賀県蒲生郡竜王町	立体接続	竜王インターチェンジ

(4) 工事予算

14 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 53 年 3 月 2 日

工事の完成年月日 昭和 56 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 2,159百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中央自動車道西宮線(滋賀県大津市大江八丁目)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道西宮線

(2) 工事地区

滋賀県大津市大江八丁目

(3) 工事方法

(イ) 他の道路との連結

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道1号(京滋バイパス)	滋賀県大津市	立体接続	瀬田東ジャンクション
県道大津能登川長浜線	滋賀県大津市	立体接続	瀬田東インターチェンジ
県道瀬田西インター線	滋賀県大津市	立体接続	瀬田西インターチェンジ

(4) 工事予算

44 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46 年 6 月 1 日

工事の完成年月日 平成 元年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 2,159百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道1号(第二京阪道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道1号

(有料道路名 : 第二京阪道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 京都府久世郡久御山町東一口字大島先 から
大阪府門真市大字蕨島 まで

(ロ) 延 長 27.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
京都府久世郡久御山町東一口字大島先 から 大阪府門真市大字蕨島 まで	80	27.4	

別 紙 1

(二)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ハ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
京都府久世郡久御山町東一口字大島先 から 大阪府門真市大字葺島 まで	6車線及び4車線	6車線及び4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00				
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00				

(チ)中央帯の標準幅員

2.25 メートル
4.50 メートル (切土部)

別紙 1

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
都市計画道路京都枚方線	京都府京都市伏見区向島黒坊	立体接続	巨椋池インターチェンジ
都市計画道路大阪枚方京都線	京都府久世郡久御山町東一口字大島先	平面接続	本線
一般国道1号(京滋バイパス)	京都府久世郡久御山町大字森	立体接続	久御山ジャンクション
一般国道1号	京都府久世郡久御山町大字佐山	立体接続	久御山南インターチェンジ
一般国道1号	京都府八幡市上津屋	立体接続	八幡東インターチェンジ
近畿自動車道名古屋神戸線	京都府八幡市美濃山	立体接続	八幡ジャンクション(仮称)
一般国道1号	京都府京田辺市松井	立体接続	京田辺松井インターチェンジ(仮称)
田辺第2駐車場	京都府京田辺市松井	立体接続	田辺パーキングエリア(仮称)
一般国道1号	大阪府枚方市長尾台三丁目	立体接続	枚方東インターチェンジ
一般国道1号	大阪府枚方市大字津田	立体接続	枚方南インターチェンジ(仮称)
一般国道1号	大阪府交野市倉治一丁目	立体接続	交野北インターチェンジ(仮称)
一般国道1号	大阪府枚方市茄子作南町	立体接続	交野南インターチェンジ(仮称)
一般国道1号	大阪府寝屋川市大字寝屋	立体接続	寝屋川北インターチェンジ(仮称)
一般国道1号	大阪府寝屋川市讃良西町	立体接続	寝屋川南インターチェンジ(仮称)
一般国道1号	大阪府門真市大字三ツ島	立体接続	門真インターチェンジ(仮称)
近畿自動車道天理吹田線	大阪府門真市大字蕪島	立体接続	門真ジャンクション(仮称)

(4)工事予算

4,020 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手(予定)年月日

- イ 京都府八幡市上津屋から京都府八幡市内里八丁まで、大阪府枚方市津田東町三丁目から大阪府寝屋川市大字寝屋まで及び大阪府門真市北島から大阪府門真市大字蕨島まで
平成 4年11月25日
- ロ 京都府久世郡久御山町東一口字大島先から京都府八幡市上津屋まで及び京都府八幡市内里八丁から京都府枚方市長尾台三丁目まで
平成13年11月12日
- ハ 大阪府枚方市長尾台三丁目から大阪府枚方市津田町三丁目まで及び大阪府寝屋川市大字寝屋から大阪府門真市北島まで
平成18年10月 1日

・なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業引継ぎを受ける予定年月日をいう。

工事の完成(予定)年月日

- イ 京都府久世郡久御山町東一口字大島先から京都府久世郡久御山町東一口小字白蓮まで及び京都府久世郡久御山町大字森から京都府京田辺市松井まで
平成15年 3月29日
- ロ 京都府久世郡久御山町東一口小字白蓮から京都府久世郡久御山町大字森まで
平成15年 8月 9日
- ハ 京都府京田辺市松井から大阪府門真市大字蕨島まで
平成20年 3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額) - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道1号(第二京阪道路) 10,618 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道2号(第二神明道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道2号

(有料道路名 : 第二神明道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 兵庫県神戸市垂水区名谷町入野 から
兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹 まで

(ロ) 延長 5.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
兵庫県神戸市垂水区名谷町入野 から	80	5.6	
兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹 まで			

(ニ) 設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン及び25トン(B活荷重)

別 紙 1

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
兵庫県神戸市垂水区名谷町入野	から	4車線	4車線	
兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹	まで			

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00				
トンネル部分	0.75×2	1.50				
橋梁高架部分 (中小橋)						
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50				

(チ)中央帯の標準幅員

3.00メートル

別紙 1

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道28号(本州四国連絡道路)	兵庫県神戸市垂水区名谷町入野	立体接続	垂水ジャンクション
神戸市道高速道路湾岸線	兵庫県神戸市垂水区名谷町入野	平面接続	垂水ジャンクション
一般国道28号(西神自動車道)	兵庫県神戸市垂水区名谷町室山	立体接続	垂水ジャンクション
一般国道2号	兵庫県神戸市垂水区多聞町小束山	立体接続	学園南インターチェンジ
一般国道2号	兵庫県神戸市西区伊川谷町長坂	立体接続	長坂インターチェンジ
一般国道2号	兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹	平面接続	永井谷ジャンクション
神戸市道高速道路北神戸線	兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹	立体接続	永井谷ジャンクション

(4)工事予算

587 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

イ 平成 3年11月15日 (兵庫県神戸市垂水区小束山一丁目から兵庫県神戸市西区伊川谷町井吹まで)

ロ 平成10年 1月22日 (兵庫県神戸市垂水区名谷町入野から兵庫県神戸市垂水区小束山一丁目まで)

工事の完成(予定)年月日

イ 平成10年 4月 4日 (本線工事)

ロ 平成21年 3月31日 (その他工事)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道2号(第二神明道路) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道 3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道 3号

(有料道路名 : 南九州西回り自動車道(八代日奈久道路))

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 熊本県八代市東片町 から
熊本県八代市日奈久下西町 まで

(ロ) 延 長 12.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
熊本県八代市東片町 から 熊本県八代市日奈久下西町 まで	100	12.0	

(ニ) 設計自動車荷重 20トン及び43トン並びに25トン(B活荷重)

別 紙 1

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
熊本県八代市東片町	から	2車線	4車線	
熊本県八代市日奈久下西町	まで			

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				
トンネル部分	1.25×2	2.50				
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				

(チ)中央帯の標準幅員

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
九州縦貫自動車道鹿児島線宮崎線	熊本県八代市東片町	平面接続	八代ジャンクション
一般国道3号	熊本県八代市敷川内町	立体接続	八代南インターチェンジ
一般国道3号	熊本県八代市日奈久平成町	立体接続	日奈久インターチェンジ
一般国道3号(日奈久芦北道路)	熊本県八代市日奈久平成町	平面接続	本線

別 紙 1

(4) 工事予算

39 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成 9年 6月 10日 (八代JCT～八代南IC)

平成 12年 11月 9日 (八代南IC～日奈久IC)

工事の完成(予定)年月日

平成 10年 4月 19日 (八代JCT～八代南IC)

平成 13年 10月 5日 (八代南IC～日奈久IC)

平成 23年 3月 31日 (その他工事)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道3号(南九州西回り自動車道(八代日奈久道路)) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道3号(南九州西回り自動車道)

(鹿児島県日置郡市来町大字大里から鹿児島県鹿児島市田上八丁目まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道3号

(有料道路名 : 南九州西回り自動車道(市来～鹿児島西))

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 鹿児島県日置郡市来町大字大里 から
鹿児島県鹿児島市田上八丁目 まで

(ロ) 延長 21.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間		設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
鹿児島県日置郡市来町大字大里	から	100	21.3	
鹿児島県鹿児島市田上八丁目	まで			

(ニ) 設計自動車荷重 20トン及び43トン並びに25トン(B活荷重)

別 紙 1

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
鹿児島県日置郡市来町大字大里	から	2車線	4車線	
鹿児島県鹿児島市田上八丁目	まで			

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				
トンネル部分	1.25×2	2.50				
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				

(チ)中央帯の標準幅員

別 紙 1

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道3号(川内道路)	鹿児島県日置郡市来町大字大里	平面接続	本線
一般国道3号	鹿児島県日置郡市来町大字大里	立体接続	市来インターチェンジ
県道徳重横井鹿児島線	鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉	立体接続	伊集院インターチェンジ
県道小山田谷山線	鹿児島県鹿児島市石谷町	立体接続	松元インターチェンジ
主要地方道鹿児島東市来線	鹿児島県鹿児島市田上八丁目	立体接続	鹿児島西インターチェンジ
一般国道3号	鹿児島県鹿児島市田上八丁目	平面接続	本線

(4)工事予算

69 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成 9年 6月10日 (伊集院～鹿児島西)

平成13年 8月24日 (市来～伊集院)

工事の完成(予定)年月日

平成10年 3月26日 (伊集院～鹿児島西)

平成14年 4月 6日 (市来～伊集院)

平成21年 3月31日

別 紙 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道3号(南九州西回り自動車道(市来～鹿児島西)) 13 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道9号(安来道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道9号

(有料道路名 : 安来道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 鳥取県米子市陰田町 から
 島根県八束郡東出雲町出雲郷 まで

(ロ) 延 長 19.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第2級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
鳥取県米子市陰田町 から 島根県八束郡東出雲町出雲郷 まで	100	19.1	

(ニ) 設計自動車荷重 20トン及び43トン並びに25トン(B活荷重)

別 紙 1

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
鳥取県米子市陰田町	から	2車線	4車線	
島根県八束郡東出雲町出雲郷	まで			

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				
トンネル部分	1.50×2	3.00				
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.50×2	3.00				

(チ)中央帯の標準幅員

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道9号(米子道路)	鳥取県米子市陰田町	平面接続	本線
一般国道9号(米子道路)	鳥取県米子市陰田町	立体接続	米子西インターチェンジ
一般国道9号	島根県安来市佐久保町	立体接続	安来インターチェンジ
一般国道9号(松江道路)	島根県八束郡東出雲町出雲郷	立体接続	東出雲インターチェンジ
一般国道9号(松江道路)	島根県八束郡東出雲町出雲郷	平面接続	本線

(4) 工事予算

130 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

イ 平成 9年 2月14日 (米子西IC～安来IC)

ロ 平成12年 3月31日 (安来IC～東出雲IC)

工事の完成(予定)年月日

イ 平成10年 3月19日 (米子西IC～安来IC)

ロ 平成13年 3月23日 (安来IC～東出雲IC)

ハ 平成20年 3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道9号(安来道路) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道9号(江津道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道9号

(有料道路名 : 江津道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 島根県江津市嘉久志町 から
島根県浜田市後野町 まで

(ロ) 延 長 14.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
島根県江津市嘉久志町 から 島根県浜田市後野町 まで	80	14.5	

(ニ) 設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

別 紙 1

(ホ)車線の幅員

(ハ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
島根県江津市嘉久志町	から	2車線	4車線	
島根県浜田市後野町	まで			

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				
トンネル部分	1.50×2	3.00				
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.50×2	3.00				

(チ)中央帯の標準幅員

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道9号	島根県江津市嘉久志町	立体接続	江津インターチェンジ
県道下府江津線	島根県江津市敬川町	立体接続	江津西インターチェンジ
県道はまだリゾート線	島根県浜田市上府町	立体接続	浜田東インターチェンジ
中国横断自動車道広島浜田線	島根県浜田市後野町	立体接続	浜田ジャンクション

(4) 工事予算

40 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成14年11月14日

工事の完成予定年月日

平成20年 3月31日 (浜田JCT～江津IC)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道9号(江津道路) 1 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道11号(高松東道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道11号

(有料道路名 : 高松東道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 香川県さぬき市津田町鶴羽 から
香川県木田郡三木町池戸 まで

(ロ) 延長 15.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設計区間	設計速度 (キロメートル/時)	延長 (キロメートル)	摘要
香川県さぬき市津田町鶴羽 から	80	15.6	
香川県木田郡三木町池戸 まで			

(ニ) 設計自動車荷重 20トン及び43トン並びに25トン(B活荷重)

別 紙 1

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
香川県さぬき市津田町鶴羽 から 香川県木田郡三木町池戸 まで	2車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2 及び1.75×2	5.00 及び3.50				
トンネル部分	0.75×2	1.50				
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2 及び1.75×2	5.00 及び3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				

(チ)中央帯の標準幅員

別 紙 1

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
四国横断自動車道阿南中村線	香川県さぬき市津田町鶴羽	平面接続	本線
一般国道11号	香川県さぬき市津田町鶴羽	立体接続	津田東インターチェンジ
県道三木津田線	香川県さぬき市鴨部	立体接続	津田寒川インターチェンジ
県道石田東津田線	香川県さぬき市末	立体接続	志度インターチェンジ
県道三木牟礼線	香川県木田郡三木町井上	立体接続	さぬき三木インターチェンジ
四国横断自動車道阿南中村線	香川県木田郡三木町池戸	平面接続	本線

(4)工事予算

190 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成 9年 3月21日 (津田東IC～さぬき三木IC)

平成12年 7月13日 (さぬき三木IC～終点)

工事の完成(予定)年月日

平成10年 3月25日 (津田東IC～さぬき三木IC)

平成13年 3月26日 (津田の松原SA)

平成13年 3月28日 (さぬき三木IC～終点)

平成20年 3月31日 (その他工事)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道11号(高松東道路) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路))に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別紙 1

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設計区間	工事施工	用地買収	摘要
愛媛県今治市長沢から 愛媛県西条市小松町妙口まで	2車線	4車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2 及び1.75×2	5.00 及び3.50				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2 及び1.75×2	5.00 及び3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				

(チ)中央帯の標準幅員

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備考
一般国道196号	愛媛県今治市長沢	立体接続	今治湯ノ浦インターチェンジ
県道壬生川丹原線	愛媛県西条市周布	立体接続	東予丹原インターチェンジ
一般国道11号	愛媛県西条市小松町妙口	立体接続	いよ小松北インターチェンジ
四国縦貫自動車道	愛媛県西条市小松町妙口	平面接続	本線

(4)工事予算

50 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成11年1月13日 (東予丹原IC～終点)

平成12年6月30日 (今治東IC～東予丹原IC)

工事の完成予定年月日

平成11年 7月30日 (東予丹原IC～終点)

平成13年 7月 6日 (今治東IC～東予丹原IC)

平成25年 3月31日 (その他工事)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額) - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道196号(今治・小松自動車道(今治小松道路)) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道478号(京都縦貫自動車道)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道478号

(有料道路名 : 京都縦貫自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間	京都府船井郡丹波町字須知	から
	京都府亀岡市曾我部町重利	まで
	京都府亀岡市篠町篠(篠インターチェンジ)	及び
	京都府京都市西京区大枝沓掛町	から
	京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	まで

(ロ) 延長	30.8 キロメートル
	丹波～亀岡 21.0 キロメートル
	沓掛～大山崎 9.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第1種第3級(道路構造令)

別 紙 1

(八)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
京都府船井郡丹波町字須知	から	80	21.0	
京都府亀岡市曾我部町重利	まで			
京都府京都市西京区大枝沓掛町	から	80	9.8	
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	まで			

(二)設計自動車荷重

設 計 区 間		設計自動車荷重
京都府船井郡丹波町字須知	から	TL - 20トン及びTT - 43トン
京都府船井郡園部町千妻	まで	
京都府船井郡園部町千妻	から	TL - 20トン及びTT - 43トン 並びに25トンB活荷重
京都府亀岡市千代川町北ノ庄	まで	
京都府亀岡市千代川町北ノ庄	から	TL - 20トン及び 25トンB活荷重
京都府亀岡市曾我部町重利	まで	
京都府京都市西京区大枝沓掛町	から	25トンB活荷重
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	まで	

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

別紙 1

(ハ)車線数

設計区間		工事施工	用地買収	摘要
京都府船井郡丹波町字須知	から	2車線	4車線	
京都府船井郡園部町千妻	まで			
京都府船井郡園部町千妻	から	4車線	4車線	
京都府亀岡市曾我部町重利	まで			
京都府京都市西京区大枝沓掛町	から	4車線	4車線	
京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	まで			

(ト)路肩の標準幅員

京都府船井郡丹波町字須知から京都府船井郡園部町千妻まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.00×2	4.00				
トンネル部分	1.00×2	2.00				
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50				

別紙 1

京都府船井郡園部町千妻から京都府亀岡市千代川町北ノ庄まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
トンネル部分			1.75及び 0.75	0.75	2.50及び 1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	

京都府亀岡市千代川町北ノ庄から京都府亀岡市曾我部町重利まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50				
トンネル部分						
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50				
橋梁高架部分 (長大橋)						

京都府京都市西京区大枝沓掛町から京都府乙訓郡大山崎町字円明寺まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘要
	左側	計	左側	右側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
トンネル部分			0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

3.00メートル

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

(丹波～亀岡及び篠インターチェンジ)

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道9号	京都府船井郡丹波町字須知	平面接続	丹波インターチェンジ
府道園部平屋線	京都府船井郡園部町内林町	立体接続	園部インターチェンジ
府道吉富八木線	京都府船井郡八木町字室河原	立体接続	八木西インターチェンジ
一般国道9号	京都府船井郡八木町字玉ノ井	立体接続	八木中インターチェンジ
府道八木東インター線	京都府船井郡八木町字八木嶋	立体接続	八木東インターチェンジ
府道宮前千歳線	京都府亀岡市千代川町北ノ庄	立体接続	千代川インターチェンジ
府道東掛小林線	京都府亀岡市大井町南金岐又ケ田	立体接続	大井インターチェンジ
一般国道372号	京都府亀岡市余部町蚊又	立体接続	亀岡インターチェンジ
一般国道423号	京都府亀岡市曾我部町重利	立体接続	亀岡インターチェンジ
市道向谷線	京都府亀岡市篠町篠	立体接続	篠インターチェンジ
市道篠ランプ9号線	京都府亀岡市篠町篠	立体接続	篠インターチェンジ

(沓掛～大山崎及び篠インターチェンジ改築)

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道9号	京都府京都市西京区大枝沓掛町	立体接続	沓掛インターチェンジ
都市計画道路沓掛上羽線	京都府京都市西京区大枝西長町	立体接続	春日インターチェンジ(仮称)
都市計画道路石見納所線	京都府長岡京市下海印寺岸ノ下	立体接続	長岡京インターチェンジ(仮称)
中央自動車道 西宮線	京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	平面接続	大山崎インターチェンジ・ジャンクション
中央自動車道 西宮線	京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	立体接続	大山崎インターチェンジ・ジャンクション
一般国道171号	京都府乙訓郡大山崎町字円明寺	立体接続	大山崎インターチェンジ・ジャンクション

(4) 工事予算

1,006 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

イ 追加工事 平成 5年 9月 8日

ロ 延伸工事 平成13年 6月 7日

工事の完成(予定)年月日

イ 追加工事 平成20年 3月31日

ロ 延伸工事 平成23年 3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額) - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道478号(京都縦貫自動車道) 1,868 百万円)